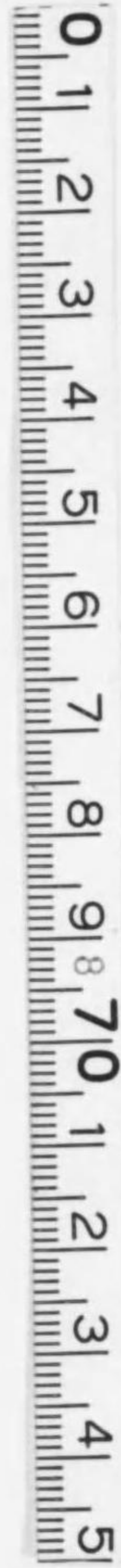


郷土訪問記念

370
1



特261
955



松田



心

羽子題



松田源治氏筆

郷土 訪問



昭和十年夏日

鶴城



親 郷

昭和乙亥夏

庸夫

親
人
聖
師

騎

畫



肉塊尚存三十年
軍神志烈該乾坤
且哉今令結靈象
後國精神美古傳

祝在神社創建 如左騎堂

右同

且汲清泉夕把鋤
空煙翠色却歸縹
善信家忠節迹枝好
雄志國南土故在

詞在神社

騎堂

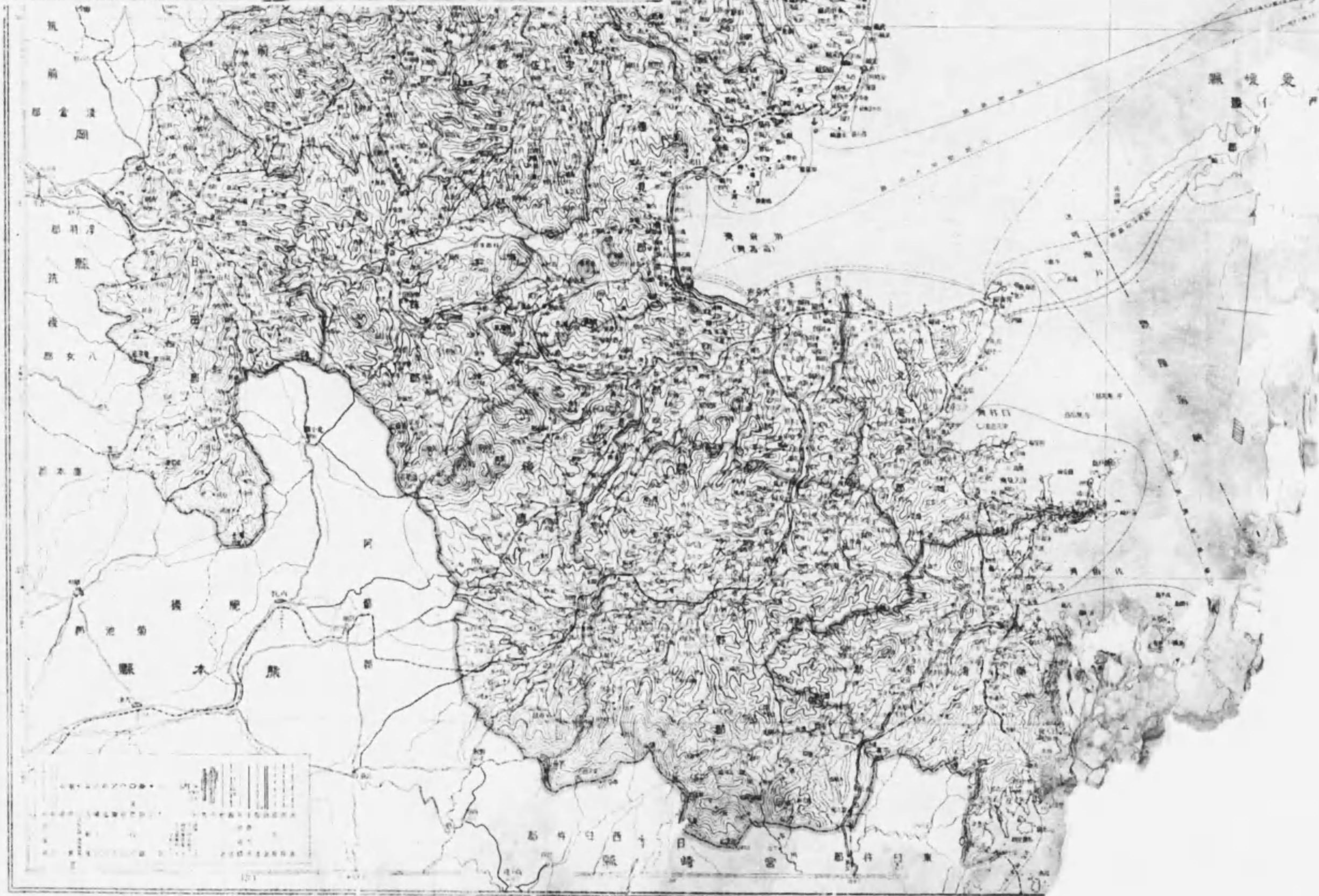


「訪問地
の主
人々」

第一行: 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明
 第二行: 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明, 氏名不明

大分管内全圖

比例尺三二〇〇〇





大分新聞本社第一應接室に於ける郷土訪問観光協会の

郷土訪問観光團員芳名

大分新聞社主催
在京大分縣人會後援

- 團長 金子 大給 近孝
- 副團長 衆議院議員 金 光 庸 夫

大分新聞社主催
在京大分縣人會後援
郷土訪問観光團員芳名

郷土訪問観光團日程表

(昭和十年七月二十七日発出日程表)

第一日程 (七月二十七日)				第二日程 (七月二十八日)				第三日程 (七月二十九日)				第四日程 (七月三十日)			
departure	arrival	departure	arrival	departure	arrival	departure	arrival	departure	arrival	departure	arrival	departure	arrival	departure	arrival
東京	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分	大分
午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後	午後
7:30	8:30	9:00	9:00	10:00	10:00	11:00	11:00	12:00	12:00	1:00	1:00	2:00	2:00	3:00	3:00
(東京) 大分県各町を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。				(大分) 大分県各地を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。				(大分) 大分県各地を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。				(大分) 大分県各地を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。			

本会は、郷土の発展と観光の促進を目的として、郷土訪問観光團を組織いたします。本会は、大分県各町を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。本会は、大分県各地を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。本会は、大分県各地を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。本会は、大分県各地を訪問し、観光し、大分県を代表する名産品の採集を行います。

大分新聞東京支社
社長 藤田 勘次郎
副社長 藤田 勘次郎
主任 藤田 勘次郎
編集 藤田 勘次郎
印刷 藤田 勘次郎
電話 東京三〇二五

申込所

大分新聞東京支社
本社 大分県大分市三丁目
電話 三〇二五
東京支社 東京市三丁目
電話 三〇二五

大分新聞
社長 藤田 勘次郎
副社長 藤田 勘次郎
主任 藤田 勘次郎
編集 藤田 勘次郎
印刷 藤田 勘次郎
電話 大分三〇二五

分新聞

大分県

湯の上に浮んだやうな
温泉境—霊岩
 故郷よ父祖の地よ
 躍り上る第二世た
 うれしいお國
 一行大歡迎裡に別
 一行大歡迎裡に別
 一行大歡迎裡に別

在京縣人郷土訪問觀光
 湯の上に浮んだやうな
 温泉境—霊岩
 故郷よ父祖の地よ
 躍り上る第二世た
 うれしいお國
 一行大歡迎裡に別
 一行大歡迎裡に別
 一行大歡迎裡に別



大分県

分地方舊盆資金
 二百萬圓程度豫想



在京縣人郷土訪問

主幹 在京縣人郷土訪問
 次いで春日神社へ参拜

春日神社へ参拜
 春日神社へ参拜
 春日神社へ参拜

大分市の郷土訪問 在京縣人歡迎會

官民有力者擧つて出席
 縣教育會館

婦人子供に
 郷土の話

耶馬溪を探勝

耶馬溪を探勝
 耶馬溪を探勝
 耶馬溪を探勝

郷土訪問観光團員名簿

Table listing members of the local visitation and sightseeing group. Columns include name (氏名), birthplace (出身地), and current residence (現住所). Members listed include 伊藤松男, 岩田春之助, 池部義雄, 千能子, 雅文, 石川忠久, 羽田彦四郎, 幸子, 羽田健二, 林幾太郎, 大給近孝, 小野なを, 渡邊長男, かう子, 三保子, 妙子, 法子, 金光庸夫, 河野清治, 河野照治, 加藤金升, 高瀬虎三, 水松為治郎, 奈須千萬彦, 長尾景英, 上田保, 美苗, 千鶴子, 内田正二, 内田積藏, 漆島参治, 漆島茂男, 草野忠右衛門, 藤人, 義人, 日下隆, 矢次健吾, 松尾深人, 松田榮子, 熊野御堂, 松浦清平, 松浦正, 近藤航一, 春子, 信子, やす子, 善太郎, 善二郎.

Table listing members of the 'Meiji' (美代) group. Columns include name (氏名), birthplace (出身地), and current residence (現住所). Members listed include 小原良吉, 小原重信, 手島正治, 昭夫, 岩男蒼生, 青田龍藏, 房秀子, 淑子, 安藤精彦, 昌子, 朝倉キヲ子, 孝吉, 阿部寛, 阿南勝子, 阿南明子, 佐藤栄, 佐藤国子, 櫻井新一, 佐藤三吾, 佐藤子之助, 御子洗辰雄, 三ヶ尻喜六, 廣田武夫, 小み子, 千代子, 三輪長生, 三松信次, 下松桂馬, 磯月学, 重野雪枝, 美代義, 日名子實三, 太三郎, 青山龍水, 樋口直大, 持木正雄, 森本富士雄, 森本さく子, より子.

Additional notes and contact information at the bottom of the page, including the address 豊島区長崎町一ノ八六〇.



氏夫庸光金 長團副



氏孝近給大 爵子長團



大 長社聞新分大



氏郎太豊村磯 長會人縣分大



小野孝行君母堂
なほ女子史



羽田彦四郎君



全命息雅文君



岩田春之助君



渡邊長男君



羽田健二氏夫人菊重様



全雅公君



池部義雄君



全か子夫人



林幾太郎君



全煌久君



人



君彦万千須奈



君升金來加



君治清野河



様子保三讓令全



君英景尾長



君三虎瀬高



君治照野河



様子妙全



内



君郎次爲松永



君穰藤加



様子法全



君 隆 下 日



君 門 衛 右 忠 野 草



君 藏 積 田 内



君 保 田 上



君 吾 健 次 矢



人 夫 子 薩 全



君 次 參 島 漆



人 夫 苗 美 全



君 人 湛 尾 松



君 人 義 甥 全



君 男 歳 島 漆



様



様子信 嬢令全



様子 和 嬢令全



人夫ミキ 全



様子 絢 嬢令全



様子 すや 全



君 郎一 航 藤 近



君 正 息 令全



様子 榮 嬢令 君 治 源 田 松



全



人 夫 子 春 全



君 巖 全



君 平 清 浦 松



人夫子秀全



君鬼荒藤衛



君吉良屋小



君郎二善全



様子房讓令全



君治正島手



人夫子モト全



君男種藤権



様子淑全



君藏瀧田青



君信重屋小



様子



阿南正茂夫人勝子様



全剛君



全息恩愿英君



全敏子様



全息明子様



全健君



朝倉每人夫人
キワ子様



安藤精彦君



全



佐藤九州男君



全息孝吉君



全息昌子様



君一良息令全



君助之子藤佐



君新井櫻



君榮部阿



君生長輪三



君雄辰洗手御



君一憲息令全



君巖藤佐



君次信松三



君六喜尻ヶ三



君行敏藤佐



人夫



人夫子くさ全



君郎太息令全



様義代美嬢令全



君馬桂松下



様子りよ嬢令全



君雄正木持



君義鎮息令全



君學月鹽



君雄士富本森



君三實子名日



様江雪人夫君之定野重



人縣分大住在京東 團光觀問訪土鄉 迎歡

在京縣人の郷土訪問を迎ふ

帝都にあつて第一線に活躍を爲しつゝある縣人並にその家族の人々を茲に迎へて兩豊の山河一際輝かしさを覺ゆる。こゝから江戸は三百里……とは舟楫の便に依り、馬子の背に依り海道筋を上下した封建時代に生れた郷土人が持つ江戸への思慕と隔離との念を時化した頃の文句である。そのお江戸も現在では僅一夜の夢を乗せて遠し得る距離にしか過ぎない。けれども機会がなければ常に旅に出られ得るものとは限らぬ。旅は道伴れであり、此の本来の旅の目的を直線的に達成し得るものは團體旅行であらう。

思郷の心は幼少年の日の思出に絡み、何處になつても盡きぬ懐しさを覺ゆる。が、また一面奮起を促す資料ともなり、心からの慰藉を與ふる源泉ともなる。恰も慈母の懐に相抱し、たものでなければならぬ。我が大分縣は神武大帝の御東遷以來、宇佐神宮を中心とする國としての遺跡を到る處に印し、大友氏時代に這入つて泰西文化輸入の先驅を爲す神宮寺浦の般賑は綿爛たる一時代を劃するに至つた。縣下の面積四百四十方里、三市十二郡二百四十八ヶ町村、總人口百萬餘に及び、農産、水産、共に豊かにして水利に富み、縣民の過半數は農を本業とし、農産物の主要なものは米、麥、七島蘭、蠶繭等にして近時特産物として縣外の人々に推賞されるものに別府の竹製品、津久見一圓の蜜柑を見る。交通運輸方面の發達には驚くべきものあり。既に日豊、豊肥、久大の三大線は完通し、總工費百九十五萬圓八ヶ年計劃に依る大分築港も竣工近きに在り、西九州と東九州との連結により同方面の京阪四國との將來の交通路に新機軸を出すべく發展を豫想する。更に名所舊跡として第一に指を屈すべきは國際的遊覽地として著知の泉都別府在り、年々浴客二百三十萬、耶馬溪の名は夙に天下に高く、國立公園に編入を見たる九州アルプス一帯、日田の遊船は旅愁を醫するに充分なるべく、風連鍾乳洞、白杵の石佛、其他幽邃境或は高燥地に湧出する幾多の未だ知られざる大小の温泉を列挙すればその煩に耐えない程である。

土地と人物とは相関的なものである。秀麗な地に優秀な人物を見る。由來本縣に先哲、諸賢、雲の如く輩出したる人材中であつて六人偉人として三浦梅園、帆足萬里、廣瀬淡窓、田能村竹田、福澤諭吉、廣瀬中佐を數へらる。殊に軍神中佐の忠勇義烈は世道の華、人心の龜鑑として鑽仰措く能はず、遂に壯麗なる神社の創建を見るに至る。近來殆んど毎内閣に閣僚を送り、財界に、軍隊に、教育に錚々たる人物を出して居るのは周知の如くであらう。斯く述べ來つて愈々我が縣の誇りを知らると同時に一段と愛すべき所以を識るのである。此の一文を草し以て一行歓迎の辭とする。

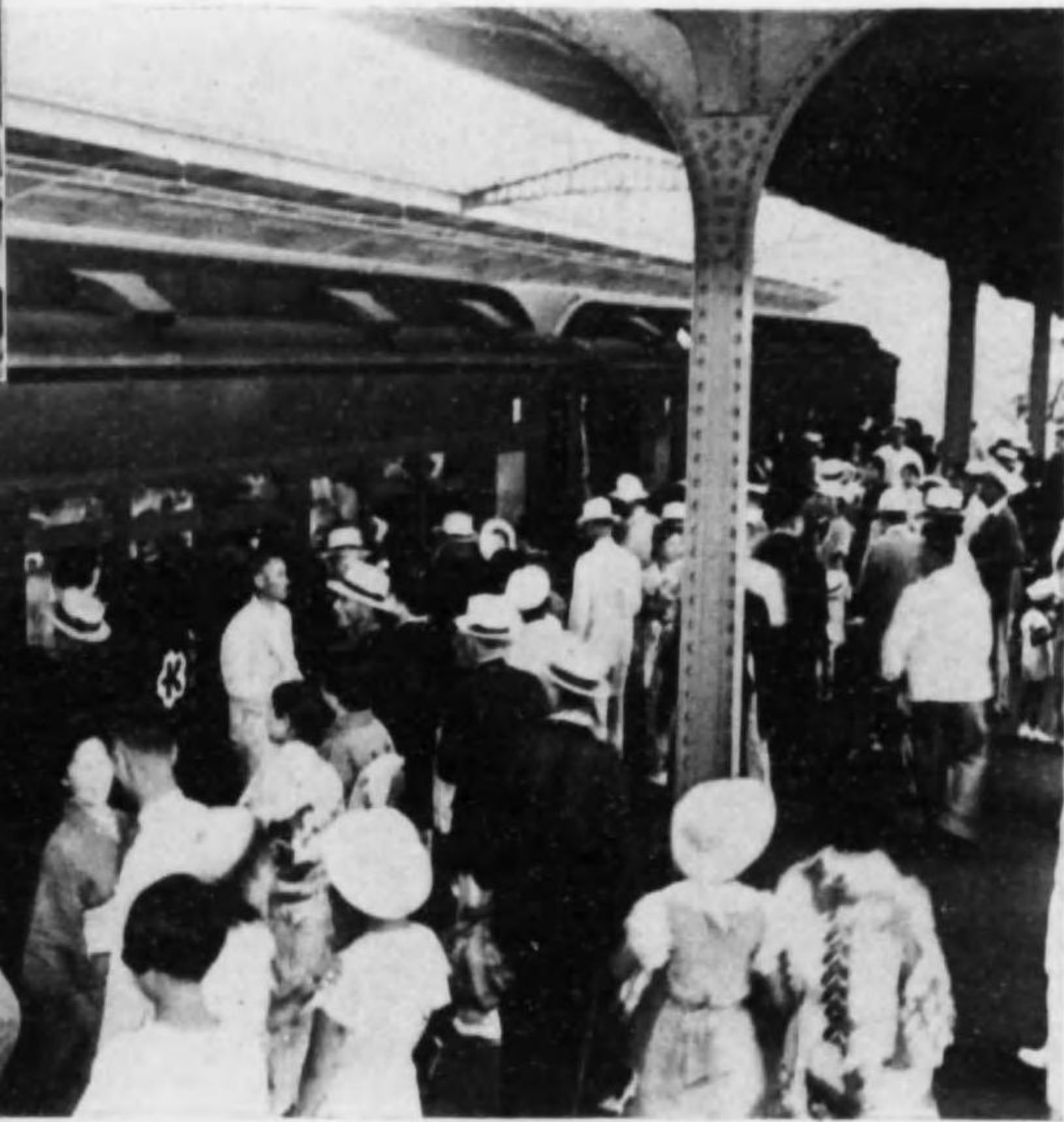


版ヤピラグの行發社聞新分大時當



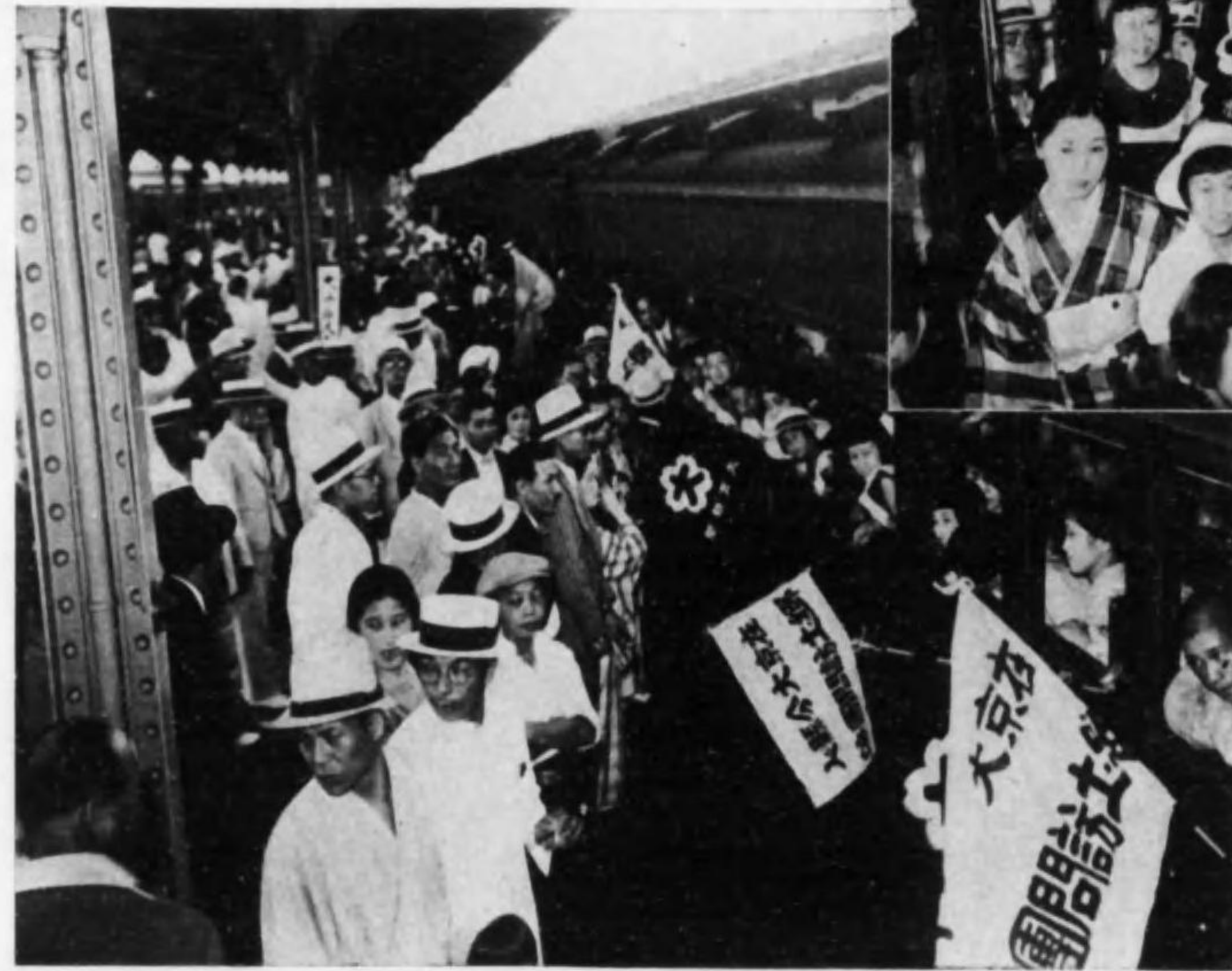


(一其) 卷
(日)
分十



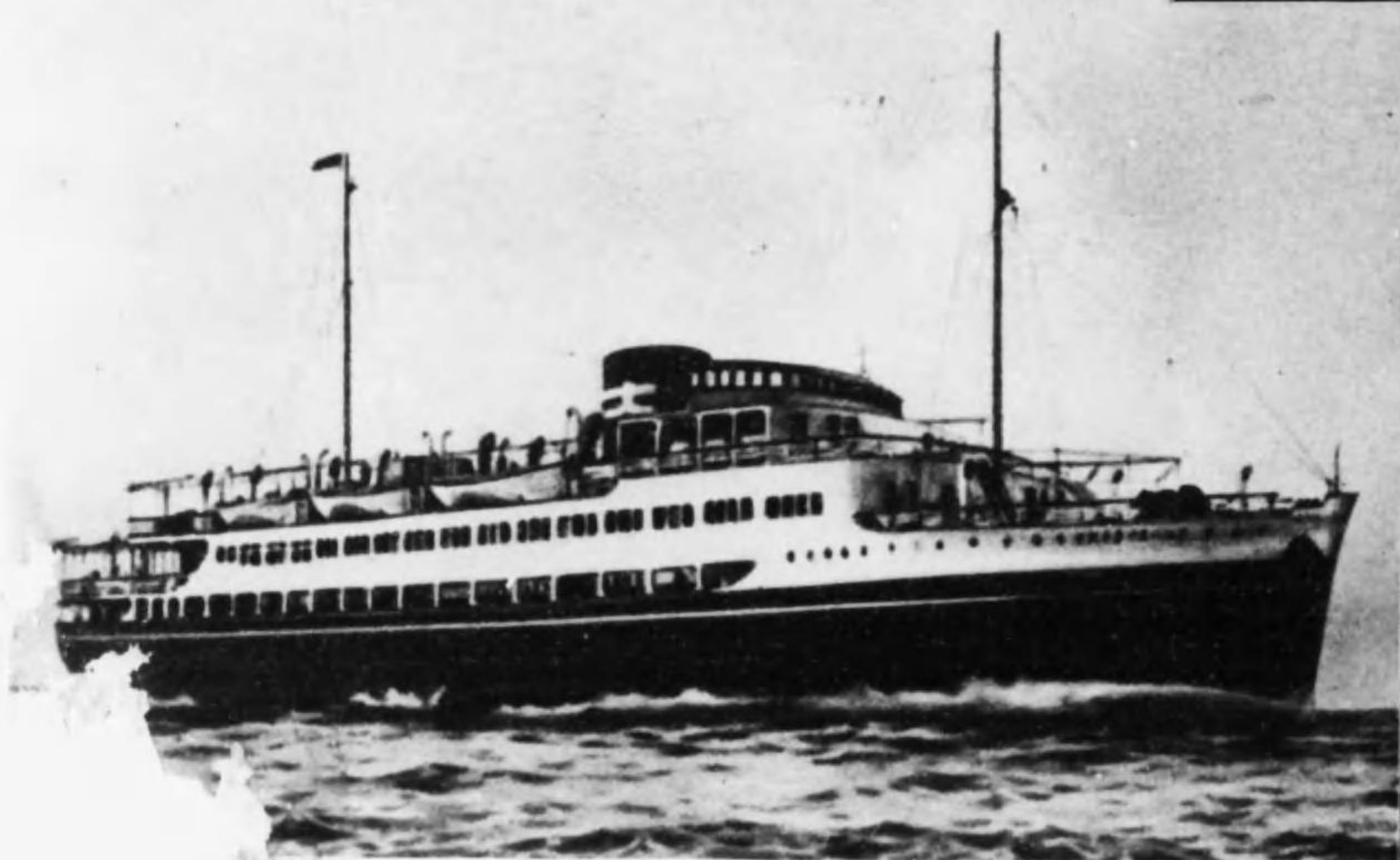
東
京

大分新聞
本郷
部長
事業





大阪驛頭ニテ在阪縣人會ノ歡迎ヲ受ク
七月二十七日午後八時半



丸きまに

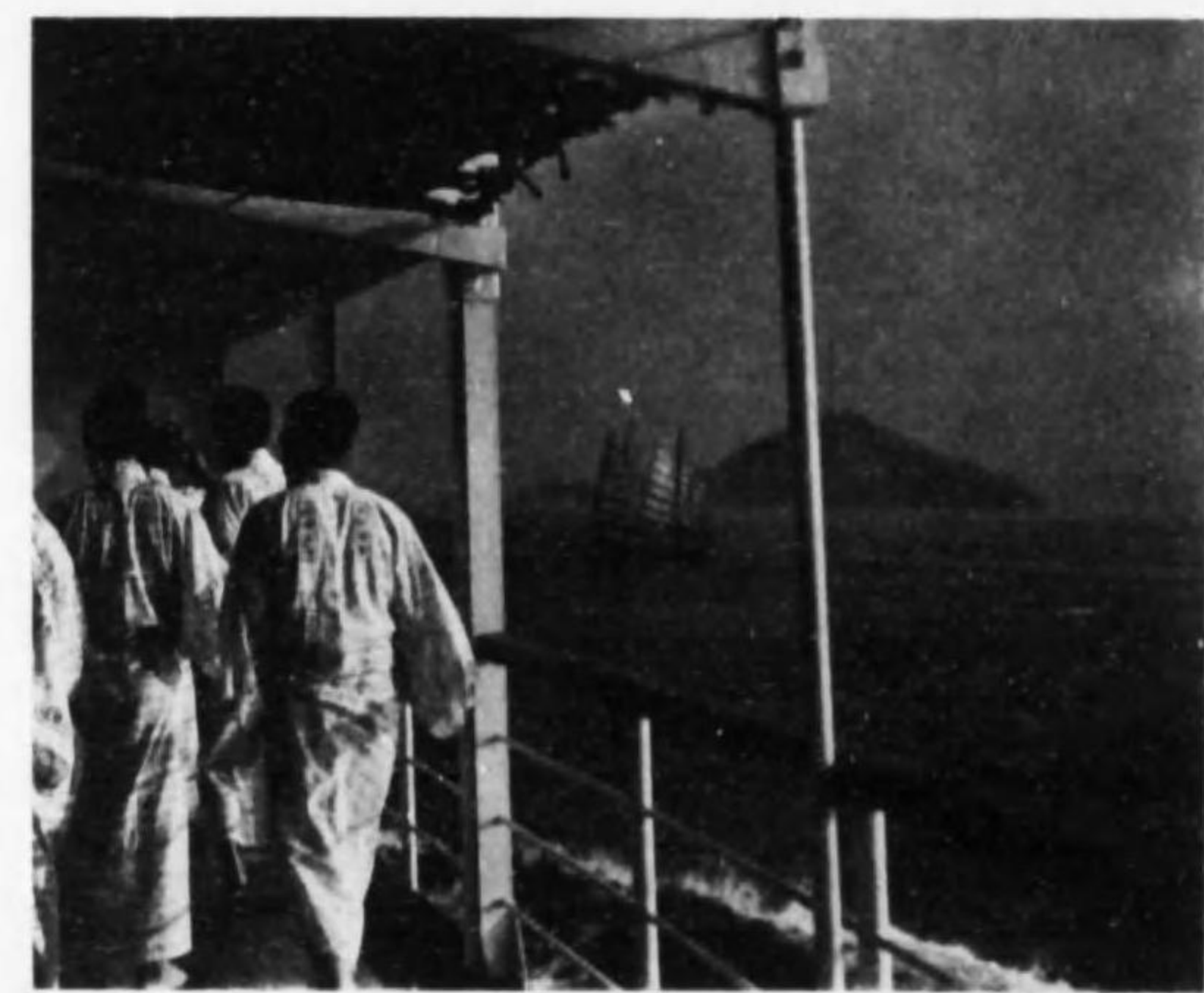
十和

(一其) 卷ノ中船丸き去に

七月二十八日



影撮念記デイ寛ヅマ



風 涼



輪投グ遊

様子シヨ川外_ 屬所部支分大社字十赤本日



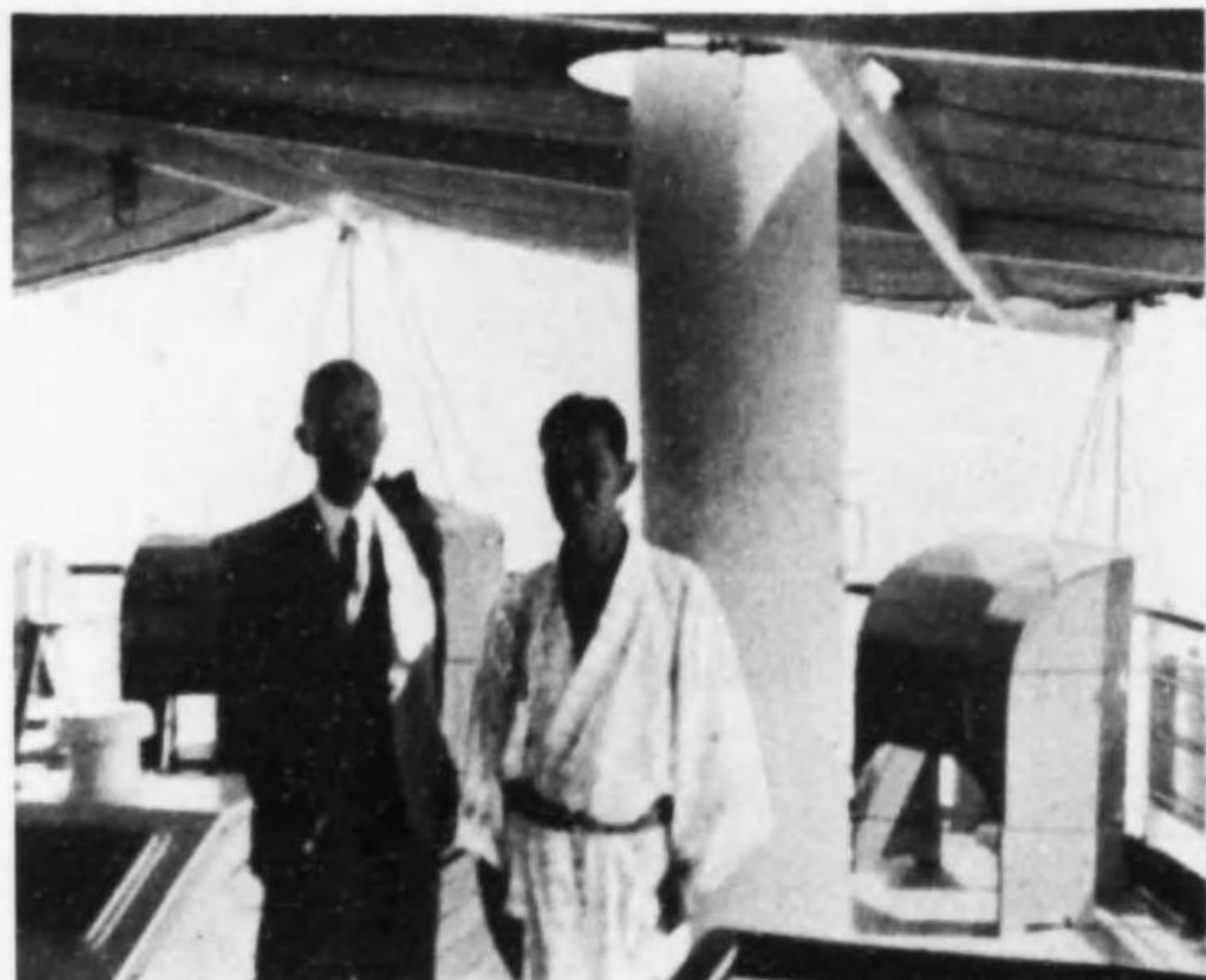
氏明林同 氏良維成安 員醫院病立縣分大

影撮念記中船



丸きえに

氏島手ト長團



ルジ興ニゲ投輪



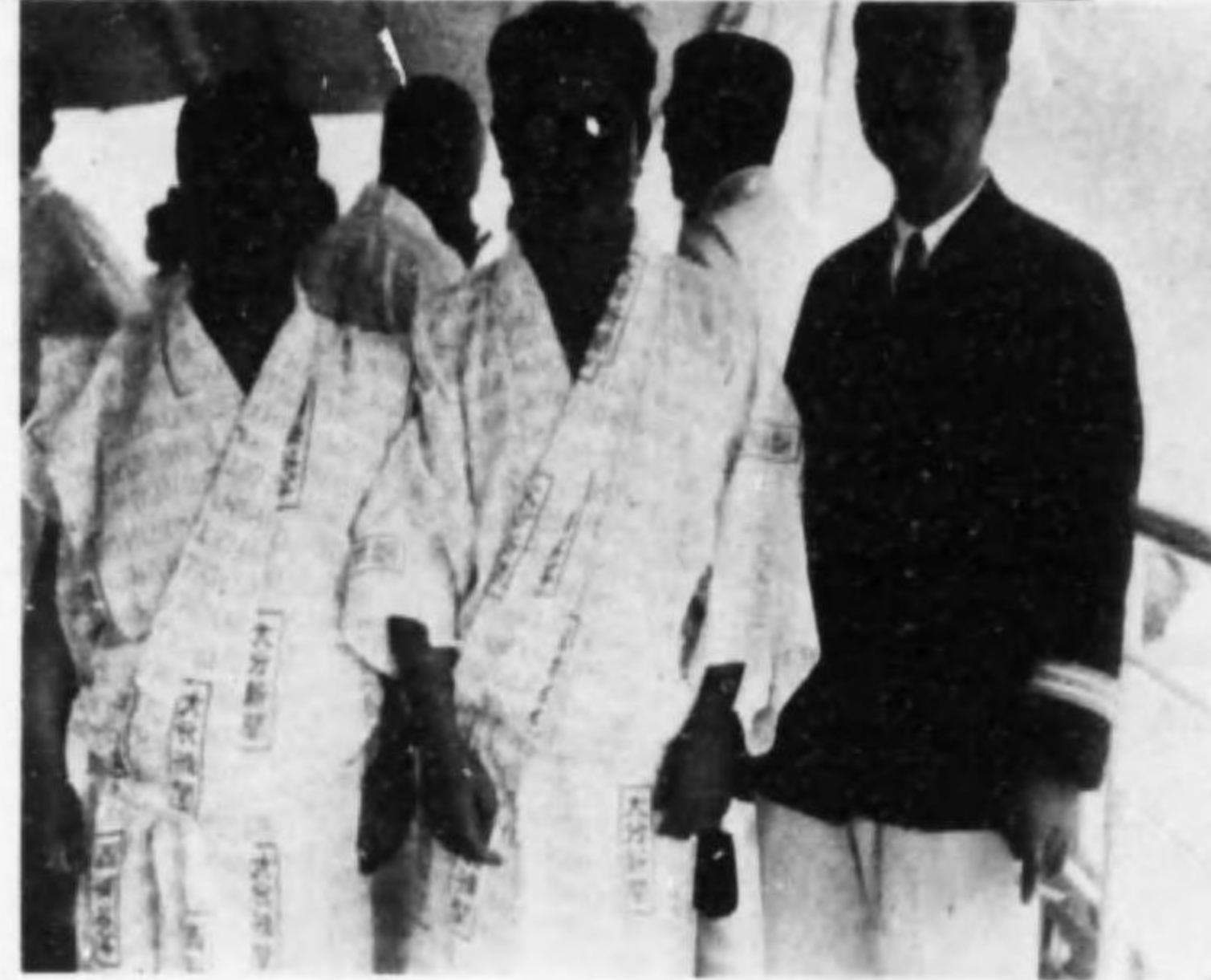
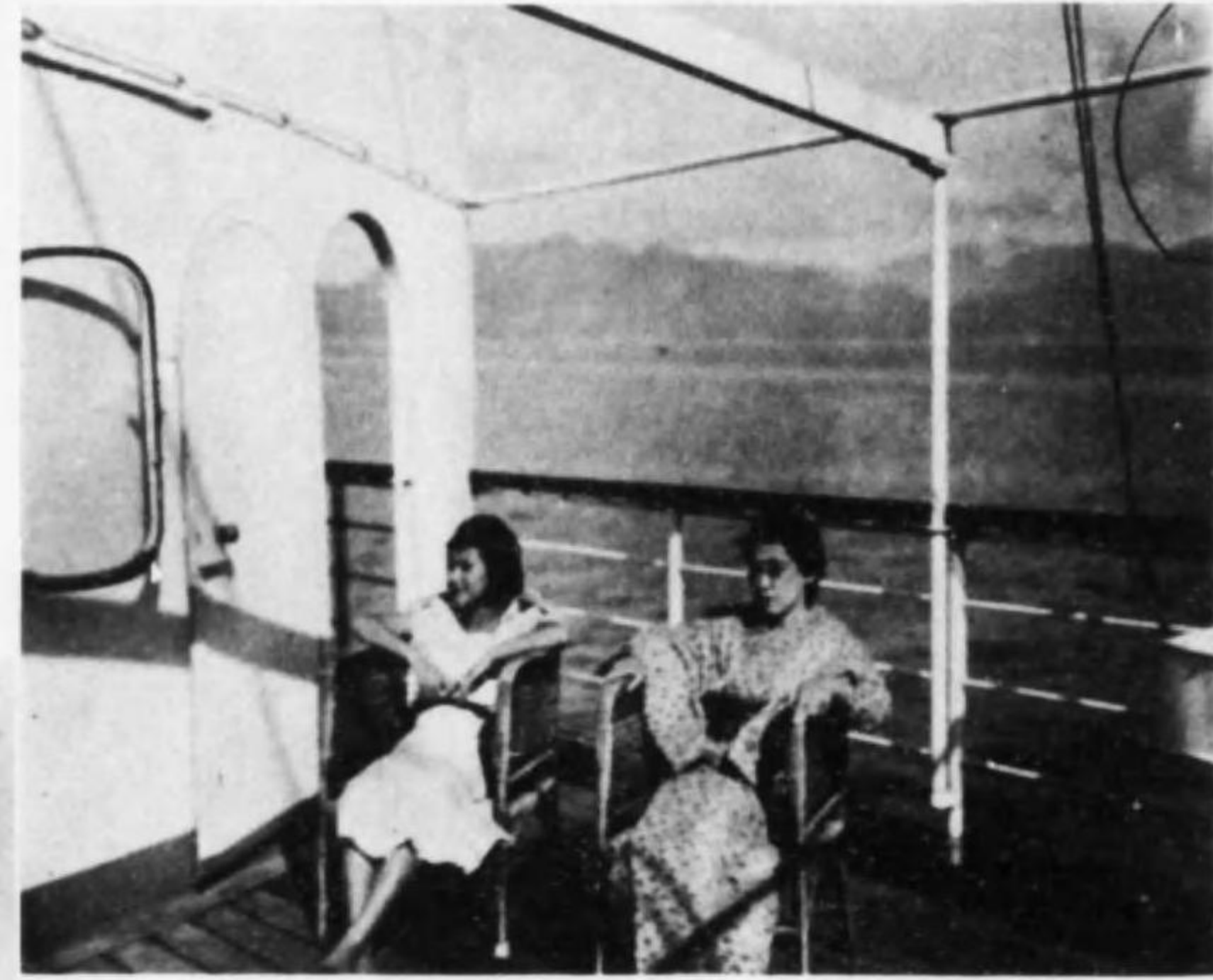
將中藤佐

(三其) 卷ノ

(四其) 卷ノ中船丸きゑに

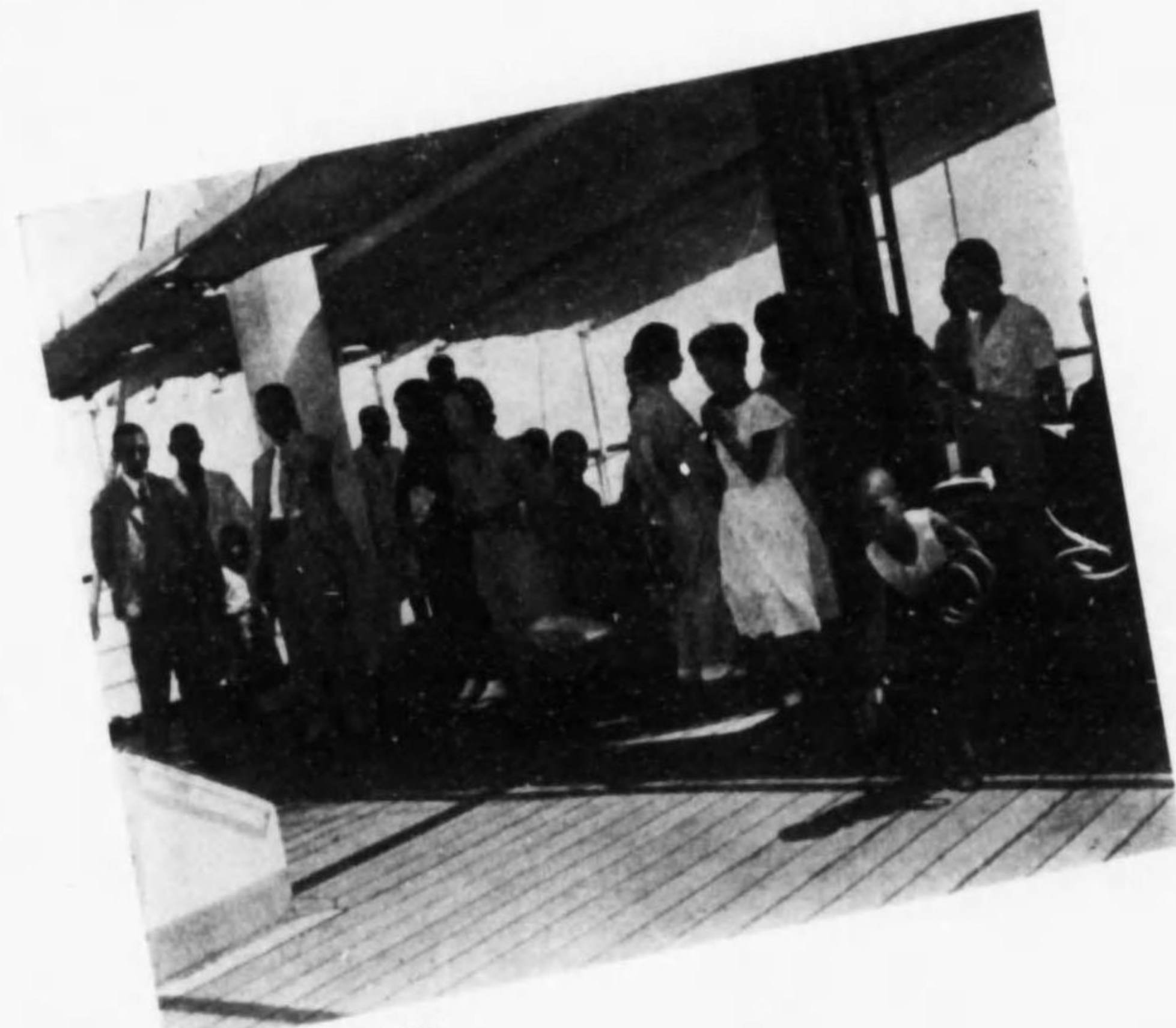


郷里ニ第一信可愛イ傳書鳩



内海ノ風光ヲ愛ス

(五其) 卷ノ中船丸きえに



ムシ樂ヲ中船



ツ放ヲ鳩書傳テニ中船

ルジ奥ニ戯遊中船



(六其) 卷ノ中船丸きゑに

(七其) 卷ノ中船丸き志に



(通過近附夜比) プ惚ヲ狀慘ノ丸縁



テニ[ンビヤキ]





内海ノ風光ヲ愛ス

棧橋ニ着ク前



デン園ランサ長園



郷 懐



氏通浩本松司宮宮幡八原梓

在京縣人郷土訪問觀光團參拜祝詞
 掛^{麻久母}畏^又柞原八幡宮大前^亦職位氏名^美忍^{美母}白^又今^又回大分新聞社在京大分縣人會
 人等議^亦謀^利御土訪問觀光團組織^又子爵大給近孝^子團長為^氏百十六名^乃人等
 今日^{志母}故鄉^手歸^利來^{礼禮婆女止}先^津大前^亦參詣
 此^乃狀^手告^奉禮^代幣^帛捧^奉拜^美
 奉^{良久手}平^介安^介聞^呂給^比今^由後^波彌^益
 益^亦大神等^乃高^位貴^位廣^位厚^位恩^賴蒙^{良志米}
 給^比八十禍津日^乃枉^事有^{良志米}各^各
 家業^手彌^進進^米給^比王^乃緒^長生^亦
 緒^久家^内安^介子^孫八^十續^爾至^乃麻^傳
 五十檀八桑^枝如^久立^采給^比天^皇
 御為^皇國^乃為^大功^立給^比鉾^中
 執持^亦恐^{美母}白^須

(一其) 拜参宫幡八原柞



宮幡八原柞



テニ股拜同



樟大ノ内境同



(二其) 拜参宮幡八原柞



行一ノ拜参



々人ルレ戯ニ樟大



大分県知事 田口易之氏



大分県庁



大分港全景



大分県経済部長 石原専一氏

春日公園ノ忠魂碑



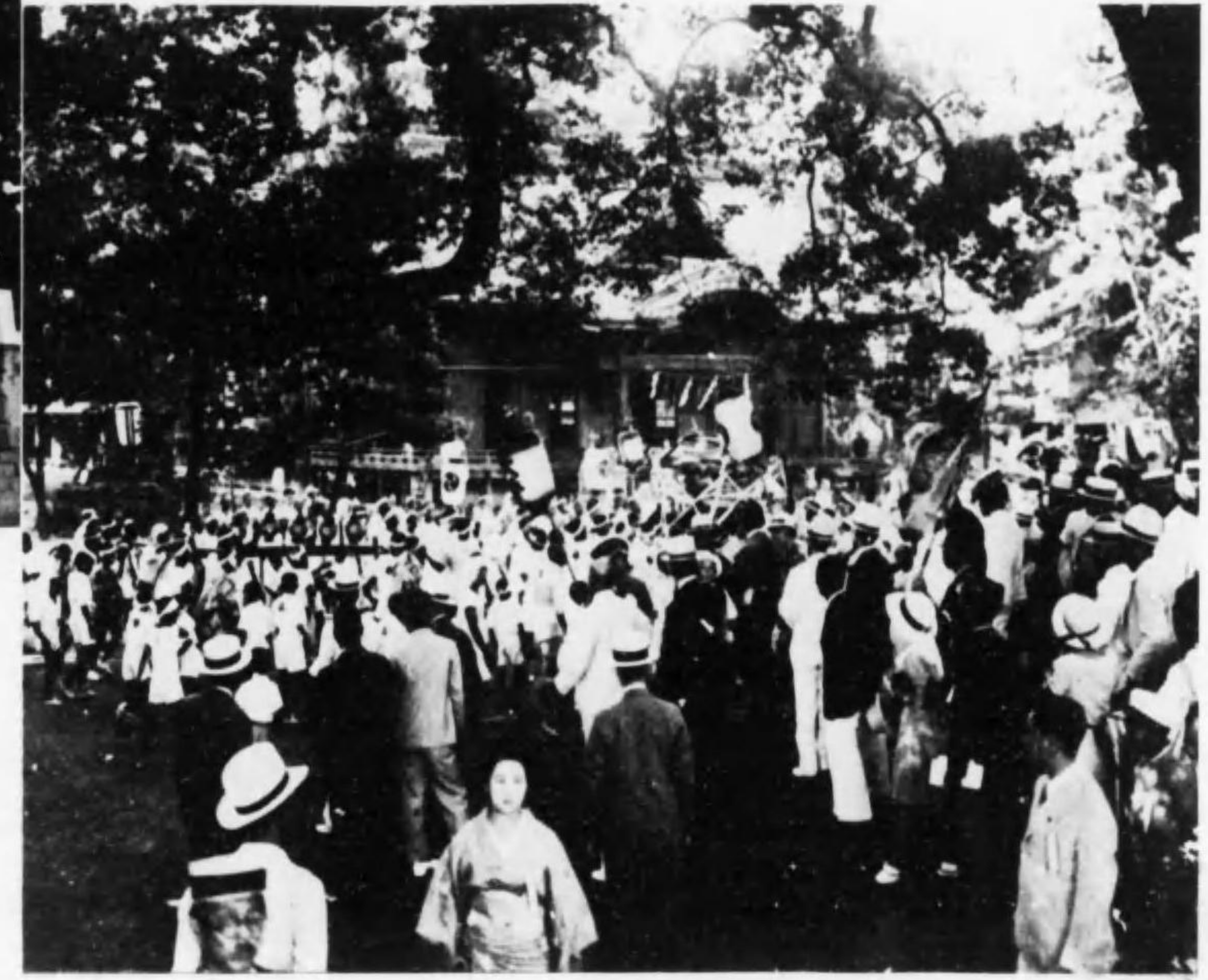
大分市長朝吹龜三氏



大分工商會議所頭塚秀雄氏



大分縣警部部長田五郎氏



春日神社(チキリ)ニ詣ズ

縣、市、商工會歡迎場



大分縣教育會館



教育會館貴賓室ニテ
中央團長 大給子爵
副團長・知事・市長

換擲中ノ團長

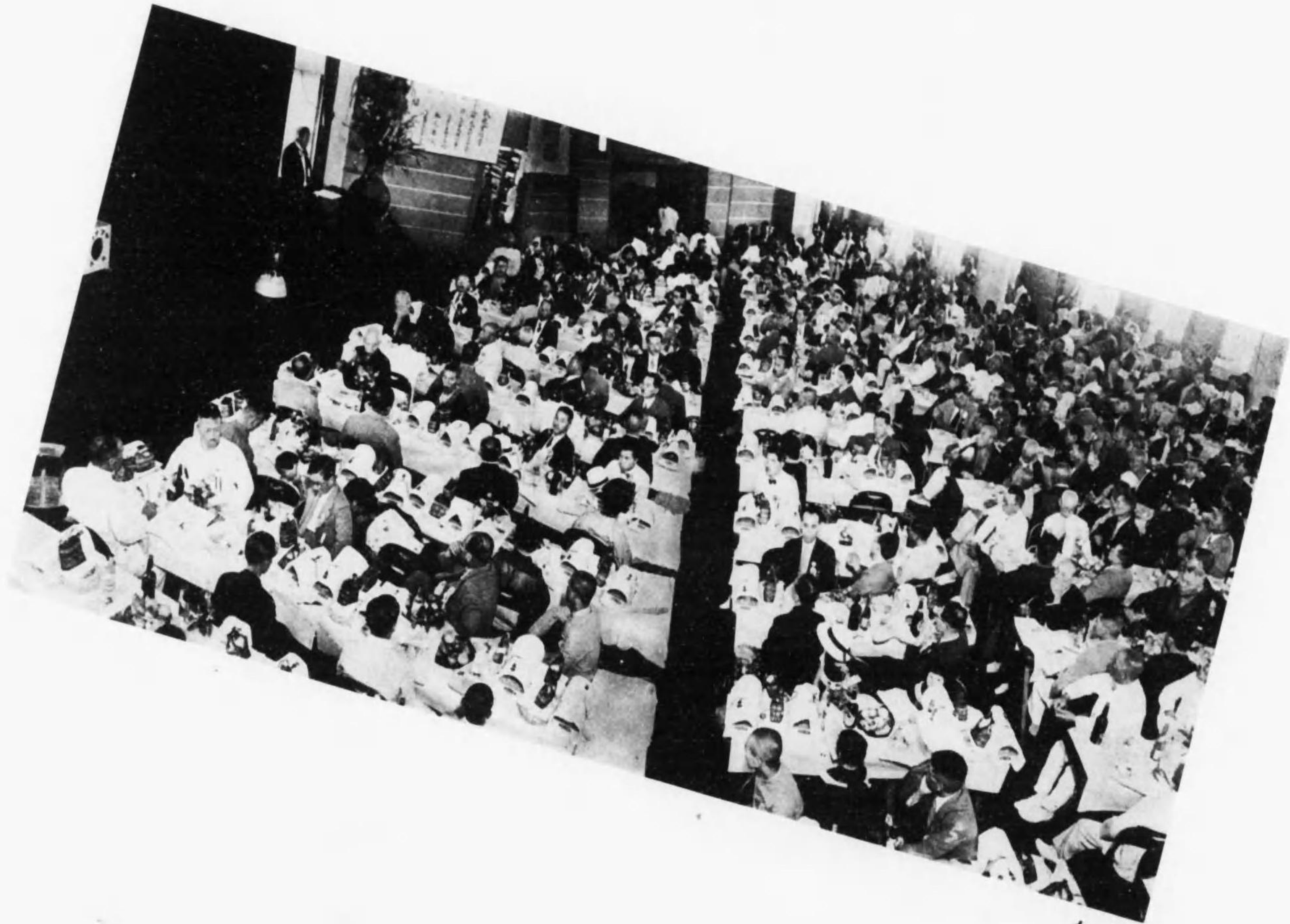


大分市ノ歡迎會



大分縣總務部長 內藤三郎氏

大 分 県 (其五)



右 同



大分縣學務部長菅澤肇氏



歡迎會場

氏平勢内武長町出日



岸海下坡出日



景全町出日

日九十二月七
(一其) 卷ノ町出日



行一ノ内境寺屋松



妻夫友親ノソト(央中)氏郎太幾林タシ遊遊リブ年十五



シナテモオノ葉茶ノ會人婦



行一ル去ヲ寺同



移換迎歡ノ長町出日内竹



在京野人

光園參拜

掛麻久母 綾尔畏 宇佐神宮 掛麻久母 綾尔畏 宇佐神宮 掛麻久母 綾尔畏 宇佐神宮
 官司從五位橫山秀雄 忍美母 拜美奉 白故御遠 有良受 一重山
 越 念 吾 詠 比志 古人 乃美加波 故御 于 戀 布 念 今
 在 人 奈 忒 加 變 倍 然 有 礼 忒 母 幾 百 里 海 山 遠 障 東
 都 与 里 一 人 母 以 啼 里 未 思 立 都 多 甚 甚 難 事 奈 里 故 是 以 大 分 新
 聞 社 登 東 都 住 開 海 此 縣 人 會 乃 等 登 相 議 相 語 鄉 土 訪 問 觀
 光 團 員 募 集 打 集 比 着 後 介 礼 婆 今 日 志 母 團 長 子 爵 天 給 近 孝
 副 團 長 衆 議 院 議 員 金 光 庸 夫 始 米 白 團 員 諸 大 御 前 參 出 皇
 御 國 彌 榮 乞 祈 奉 將 已 賀 自 自 過 未 年 月 長 無 事 無 饒 衆
 行 給 開 苗 皇 神 等 高 尊 恩 賴 嬉 奉 里 辱 奉 報 賽 乃
 御 祭 任 奉 良 年 登 志 心 捧 奉 御 食 御 酒 海 川 山 野 種 種 味 物 隨 神
 平 安 相 諾 聞 食 給 今 行 先 彌 益 益 此 團 員 等
 夜 守 畫 守 守 惠 幸 給 身 健 康 心 猛 雄 雄 已 已 務
 緩 事 無 怠 事 無 家 業 勤 勉 子 孫 乃 十 續 至 必 每 傳
 五 十 種 八 桑 枝 如 立 榮 給 君 為 國 御 為 高 功
 績 五 給 殊 天 皇 命 大 御 陵 咸 天 耀 國 權
 給 比 皇 御 國 大 御 光 天 照 國 照 光 照 給 開 登
 謹 美 敬 比 恐 美 忍 美 母 白 須



宇佐神宮宮司 橫山秀雄氏



影撮念記ノ行一ヲニ面側殿拜宮神佐宇



宇
佐
神
宮





宇佐郡、町村長、會長
友成公則氏

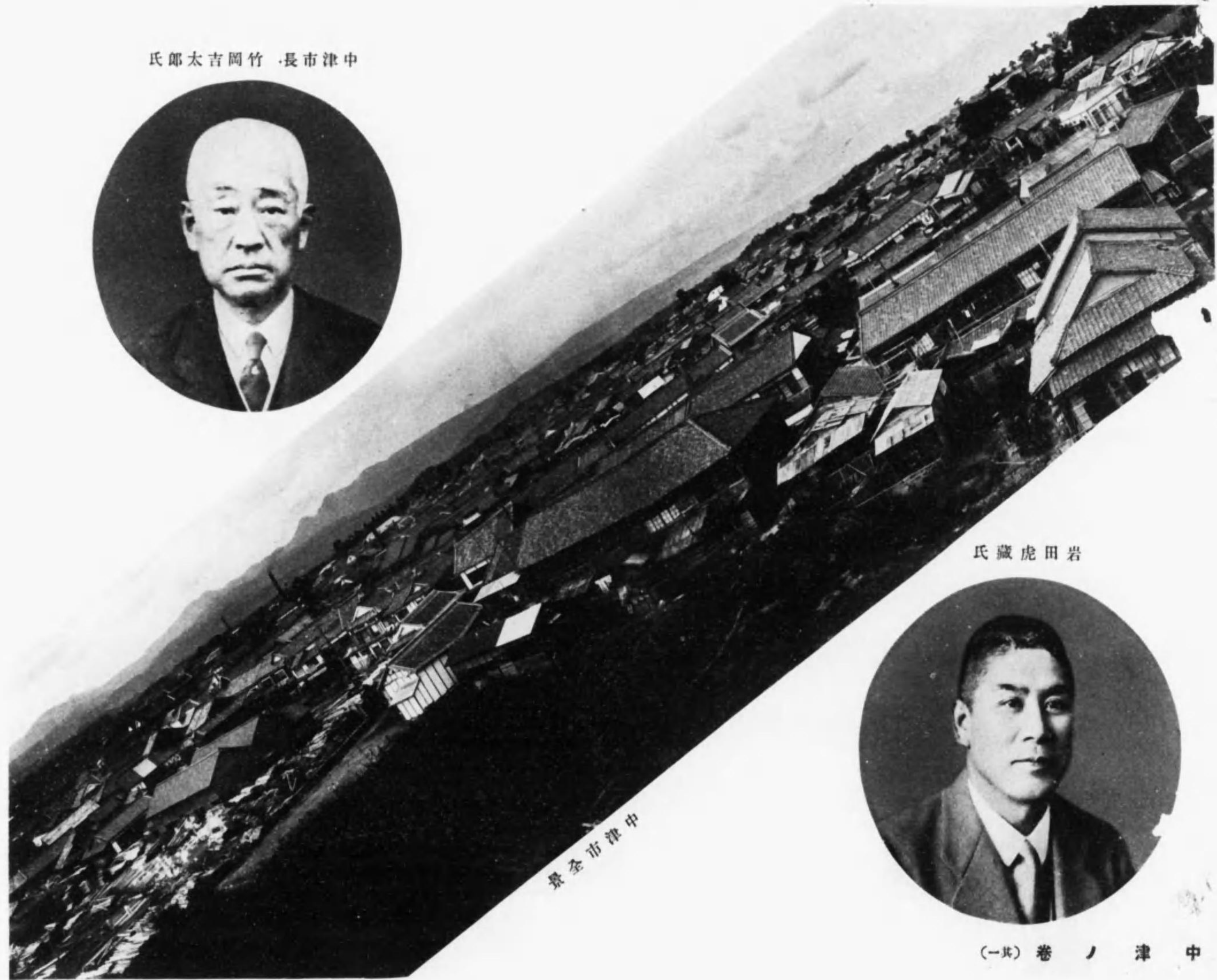


宇佐神宮拜殿ニテ



宇佐神宮參道ニテ

氏郎太吉岡竹・長市津中



景全市津中

氏藏虎田岩



(一其) 卷ノ津中

獨 立 學 習 是 修 身

福澤先生記念館



福澤諭吉先生筆跡



福澤諭吉先生



福澤先生幼年時代勉強の家



福澤先生生家裏庭に於ける朝倉氏家族



中津公園



福澤諭吉先生銅像(中津市舊城内)

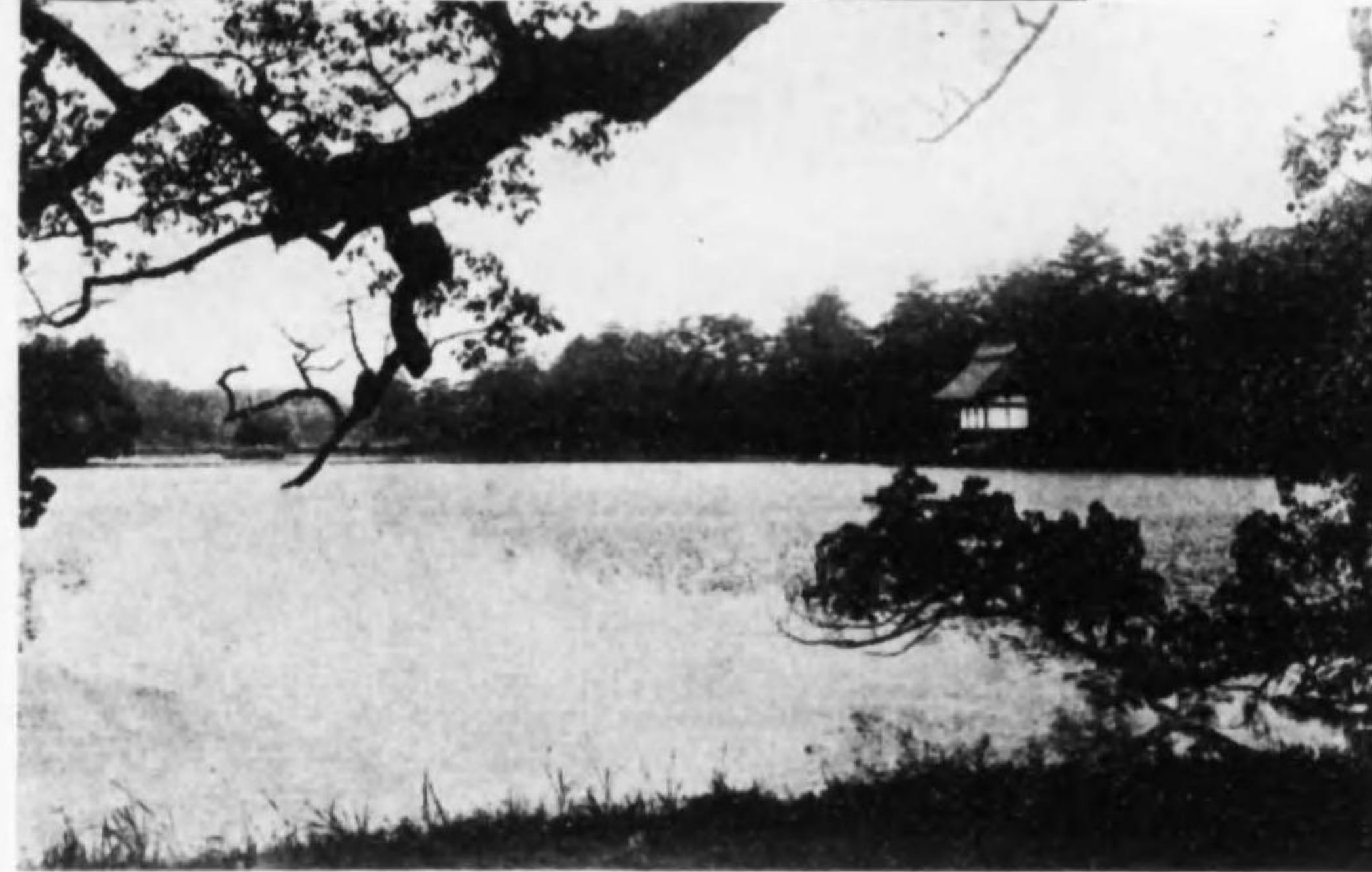


中津市公會堂ノ歡迎會

福澤先生舊邸



福澤邸ニテ野草氏令息



大貞神池

本耶馬溪競秀峯



羅漢寺ニテ高瀬虎三氏



寺漢羅溪馬耶

羅漢寺ノ一部



耶馬溪ノ卷(其二)



深耶馬ノ一部



耶馬溪羅漢寺ニテ



羅漢寺登山





羅漢寺ノ鐘樓



ヲニ寺漢羅



堂本寺漢羅



高松宮殿下御休憩跡

松浦氏家ト手島氏



森町末廣神社ニテ



得重森町長



町森夕見カラ神社末



森町末廣神社ニテ



金光副團長ノ謝辭



テシ盡ヲ歡客主



テニ内境社神廣末

日 田 町 長 首 藤 今 四 郎 氏



大 分 縣 議 會 員 日 田 町 工 商 會 長 岩 田 昭 太 郎 氏



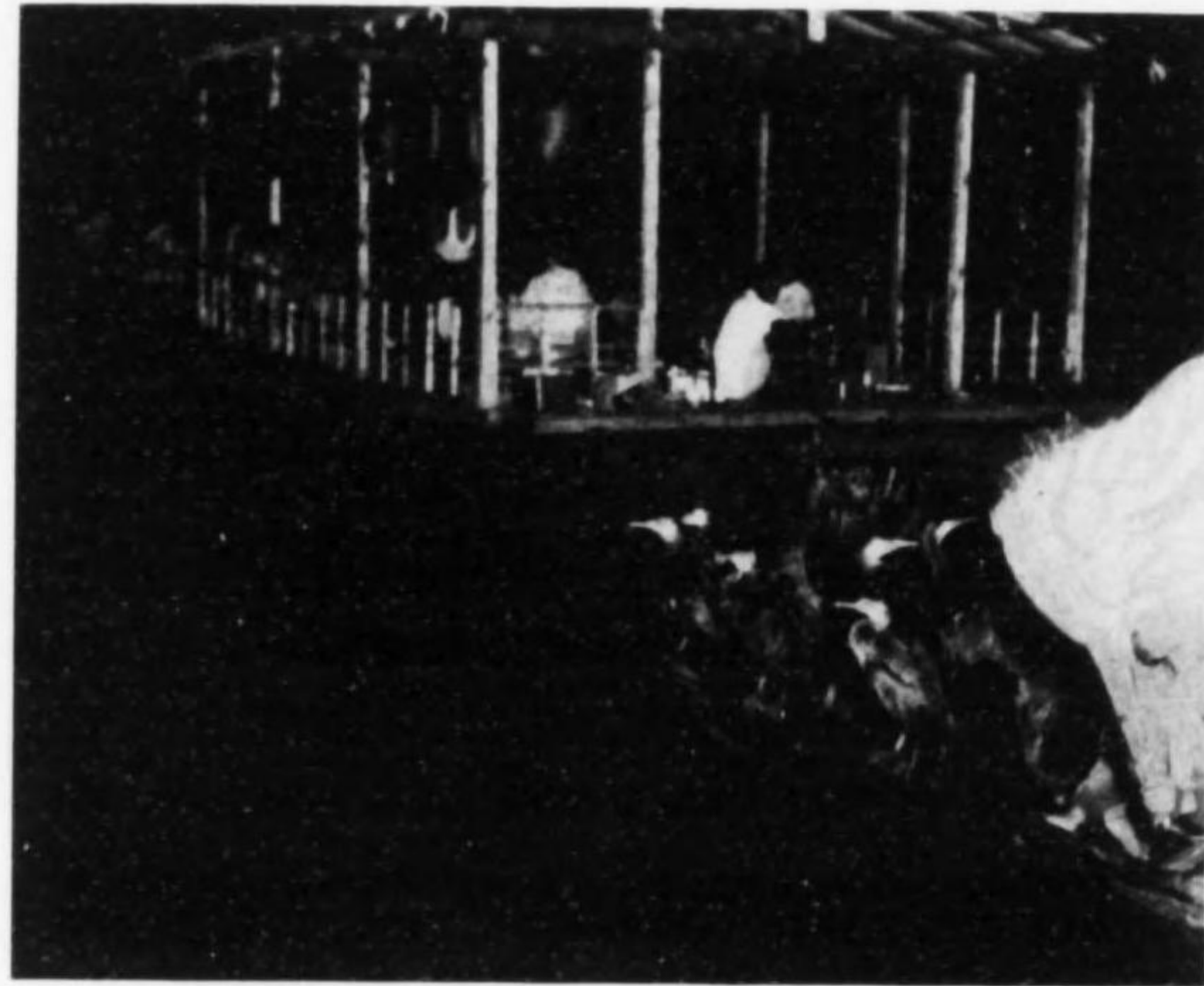
三 限 川 ノ 舟 下 リ



三 限 川



雨 降 ル 三 限 川



飼 鶴 物 名



鶴 ナ 事 見



三
限
川
遊
船
正
面
大
給
團
長
岩
藤
巖
氏
尾
氏



近附山大田日



日田町全景



日田町ヨリ阿蘇へ向フ
(自動車ヨリ)



水郷ノマドイ



大觀望ノ自動車列ト久住連峰



大分縣警部 楠
小野源平氏

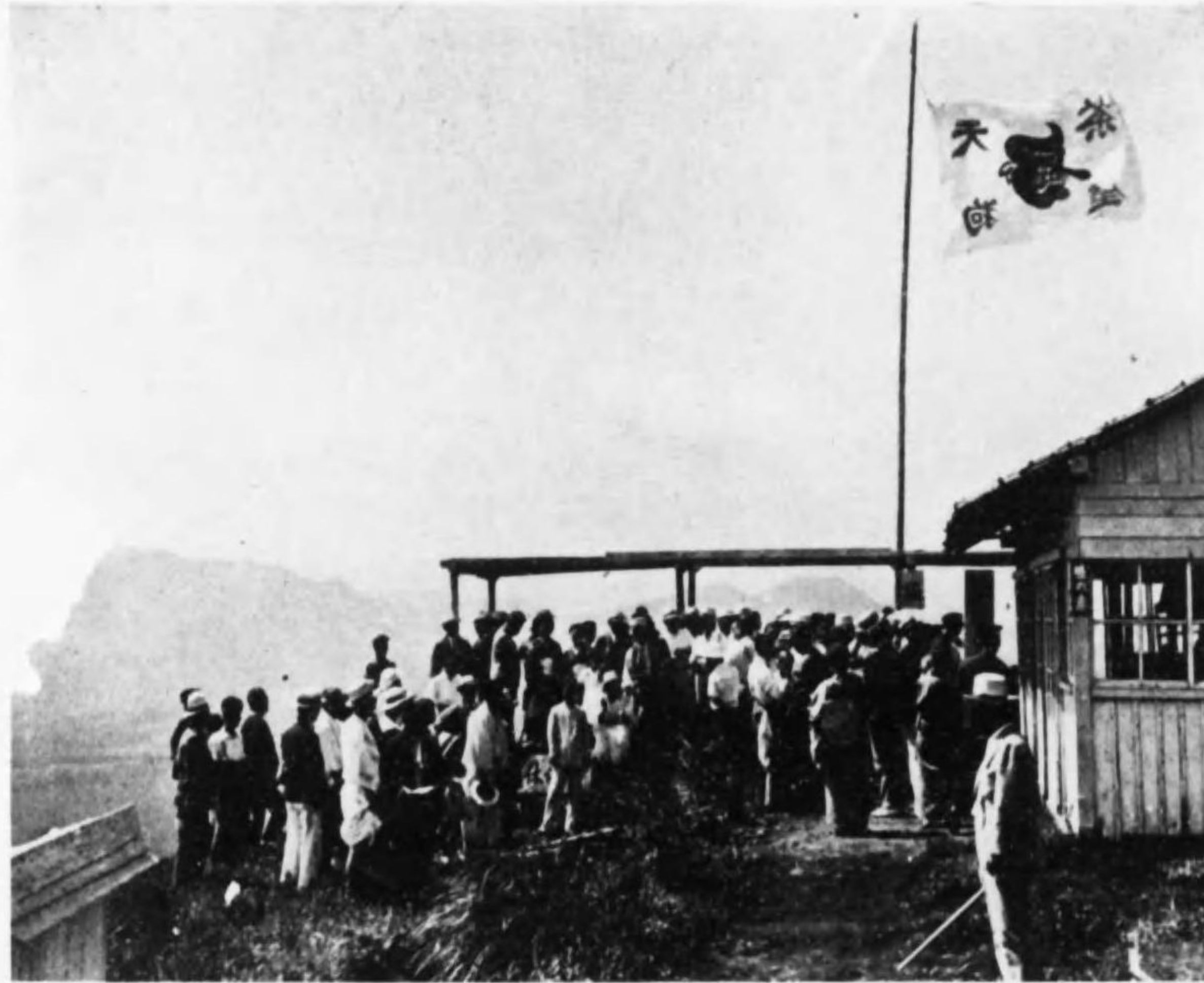
阿蘇登山ノ卷(一)
七月十三日

宮地町ノ阿蘇神社



大觀望ヨリノ歸途

大觀望ニテ阿蘇山ヲ望ム



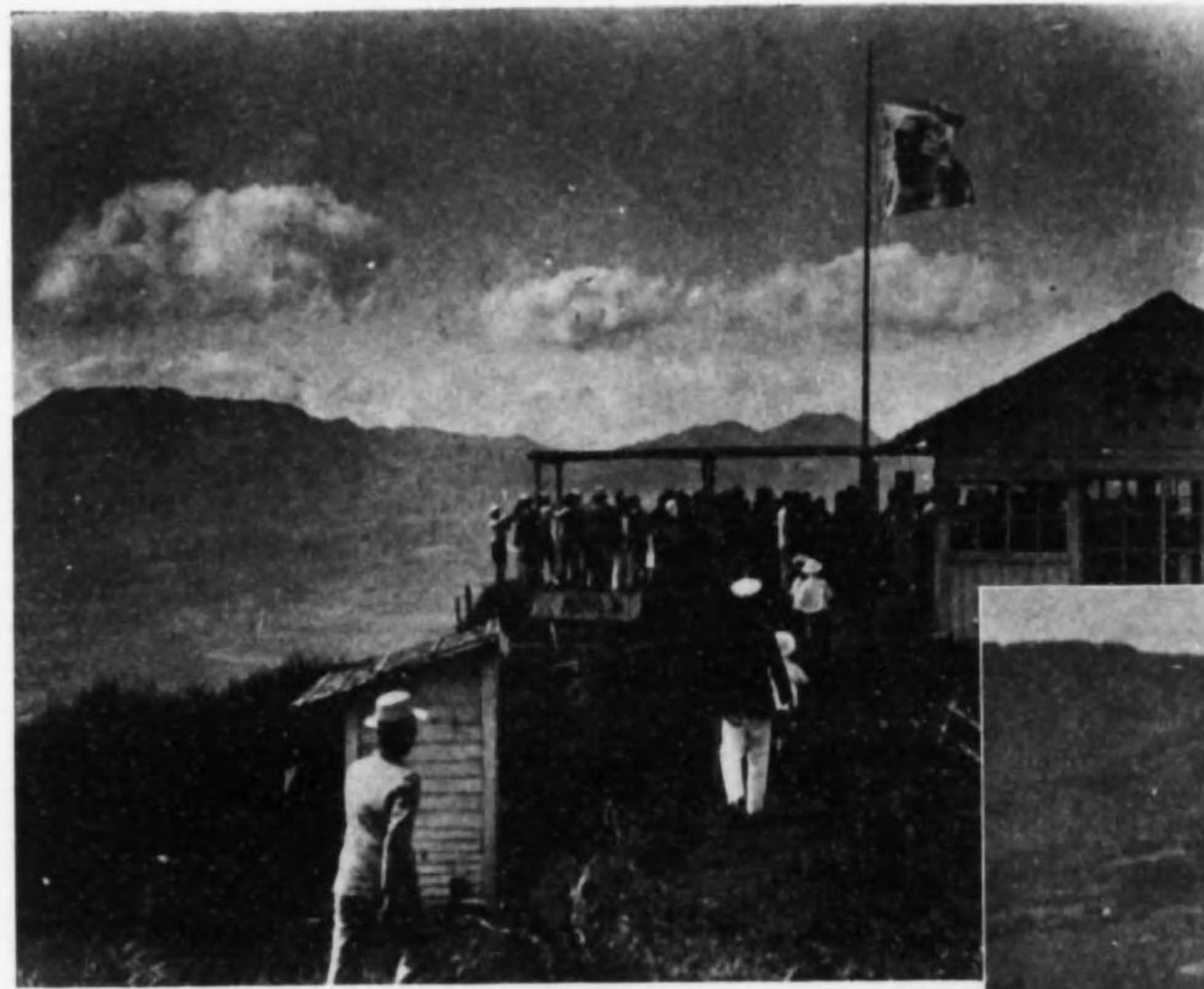
(二其) 卷ノ山登蘇阿



行一ノ山下ヲ望觀大



ヒ 憩



大觀望名殘ヲ惜ム一行

天狗茶屋ニテ



憩
ヒ

阿蘇登山ノ巻



火口近キ新登山道ノ終点地



阿蘇ノ牧場



憩

道新山登



行一ノ邊口火噴



口火噴大

(六其) 卷ノ山登蘇阿

頂上間近シ



ツツリハタイヲ老



行一ク線

(七其) 卷ノ山登蘇阿



テニ頂山蘇阿

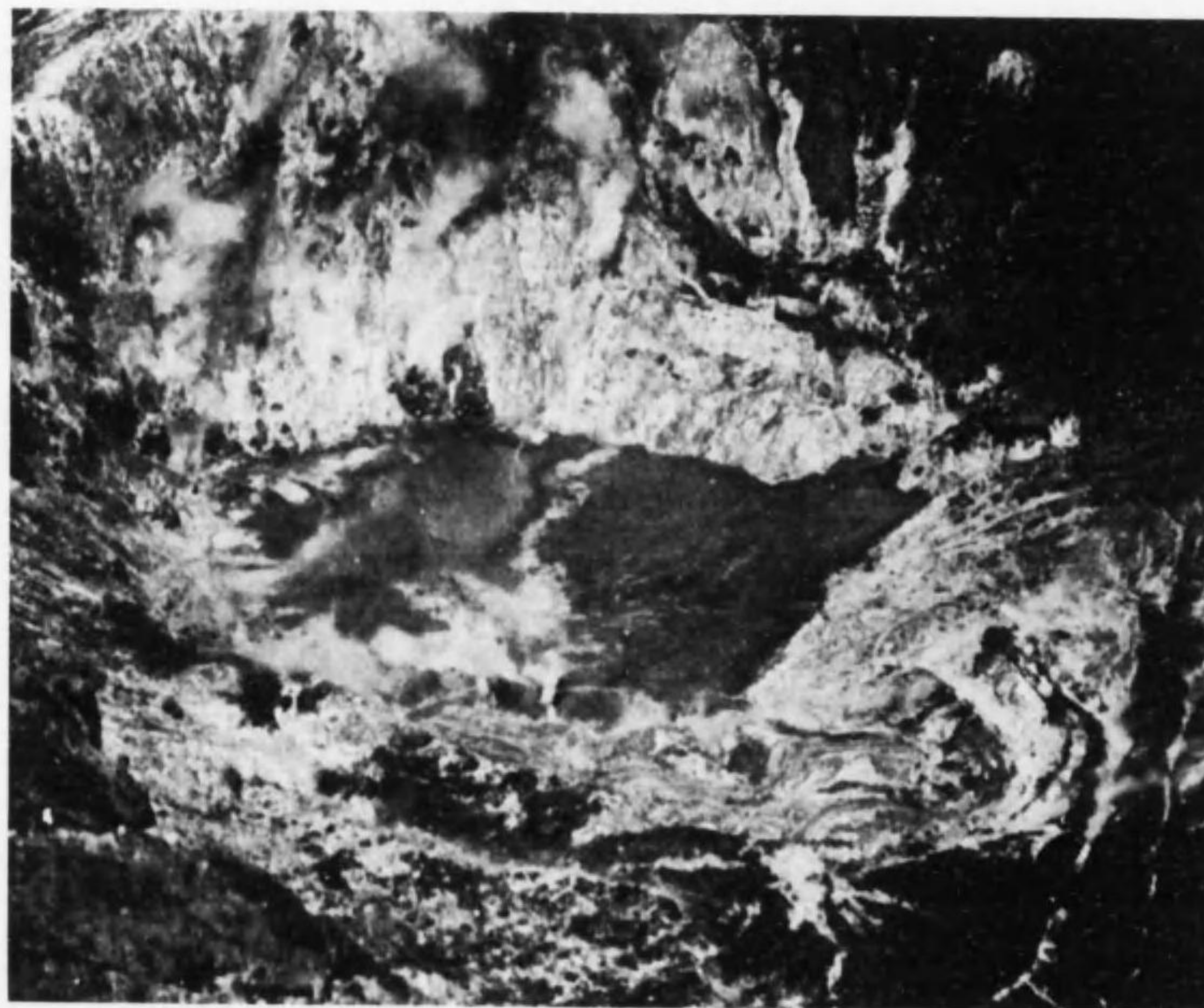
風涼



出想キシ樂



部内ノ口火噴舊蘇阿大



人夫氏浦松



望ヲ部一ノ峰五蘇阿ヲヨ峰觀大同



ム望ヲ峰連住九リヨ山輪外同

ノ山蘇阿



廣瀨神社祝詞

掛 畏 廣瀨神社乃社司佐藤次吉恐 恐 白 敷島 日本國民
古 神 敬 祖先 崇 老 敬 若 愛 傳 年 精 神 畏 我 大 朝 廷

國民 大 宗 家 民 家 皇 朝 廷 分 家 狀 態 有 然 外 國 東
住 居 我 國 民 三 笠 山 月 影 他 鄉 在 人 々 產 土 地 志 時

有 此 心 培 聽 日 本 心 花 咲 皇 德 國 大 御 光
四 方 國 々 拜 極 追 伊 照 輝 給 最 尊 最 畏 日 本

精 神 有 故 是 次 今 回 大 津 大 分 新 刺 社 長 東 京 住
大 分 縣 人 會 乃 主 人 々 相 謀 鄉 土 訪 問 團 體 組 織 波 呂

波 呂 下 末 大 給 子 壽 始 百 餘 令 尊 諸 々 音 大 神 高 大 御 功 績 廣 大 御
神 德 尊 奉 哀 奉 今 日 生 日 足 大 前 參 奉 清 赤 真 心 瞻 仰 奉 拜

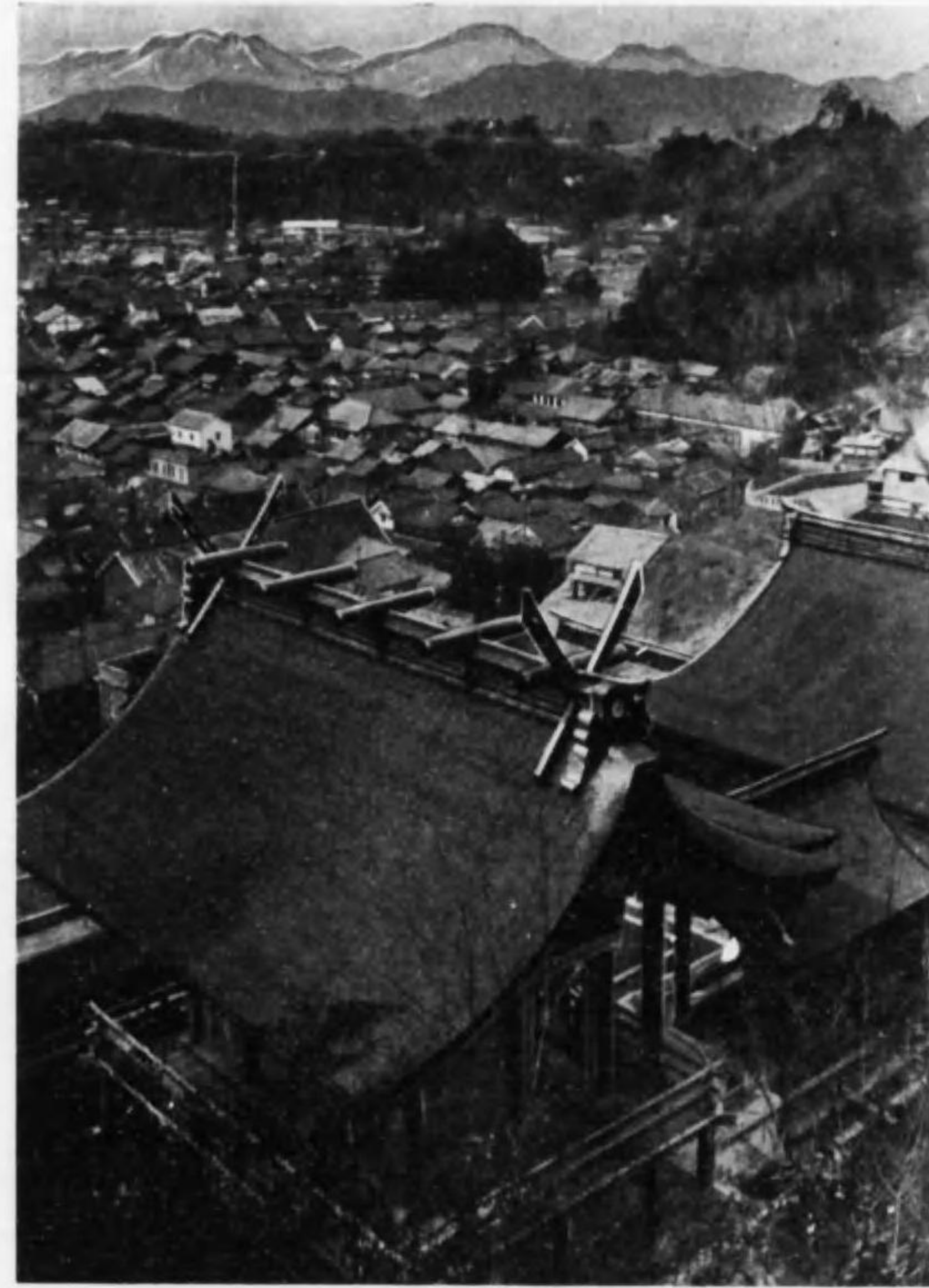
奉 大 鄉 心 廣 周 食 諸 人 等 家 身 身 給 惠 給 心 穩 身 健 家 內 安
產 奉 豐 各 各 拜 饒 饒 生 子 十 緒 至 彌 崇 奉 給 現 心 現 心 白



竹田町長代理 小倉邦雄氏



竹田住雌瀧ノ一部

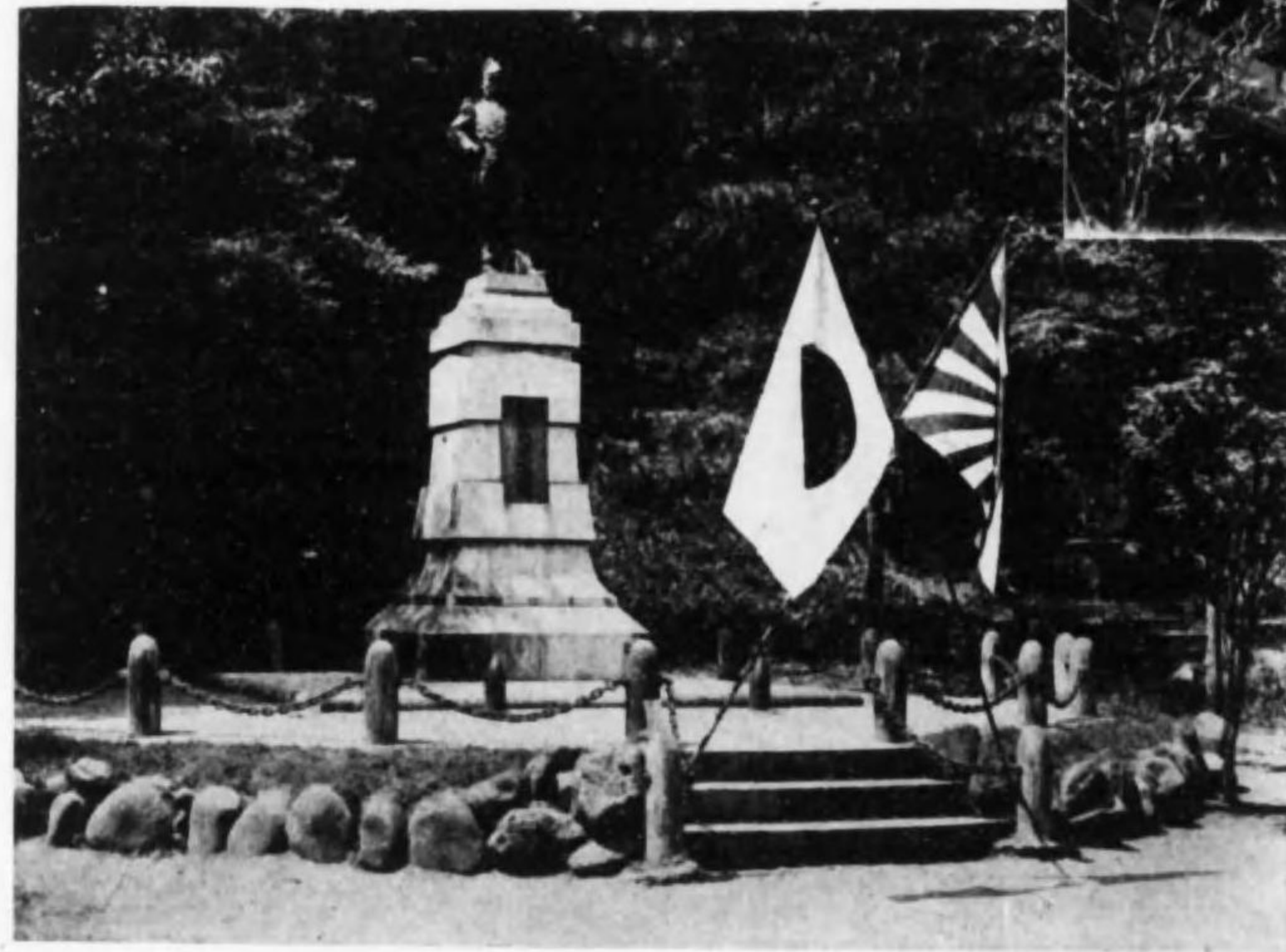


廣瀬神社ヨリ見た竹田町全景

竹田ノ巻(其一)今夜ハ竹田泊リ

（二期）卷ノ田竹

廣瀬神社



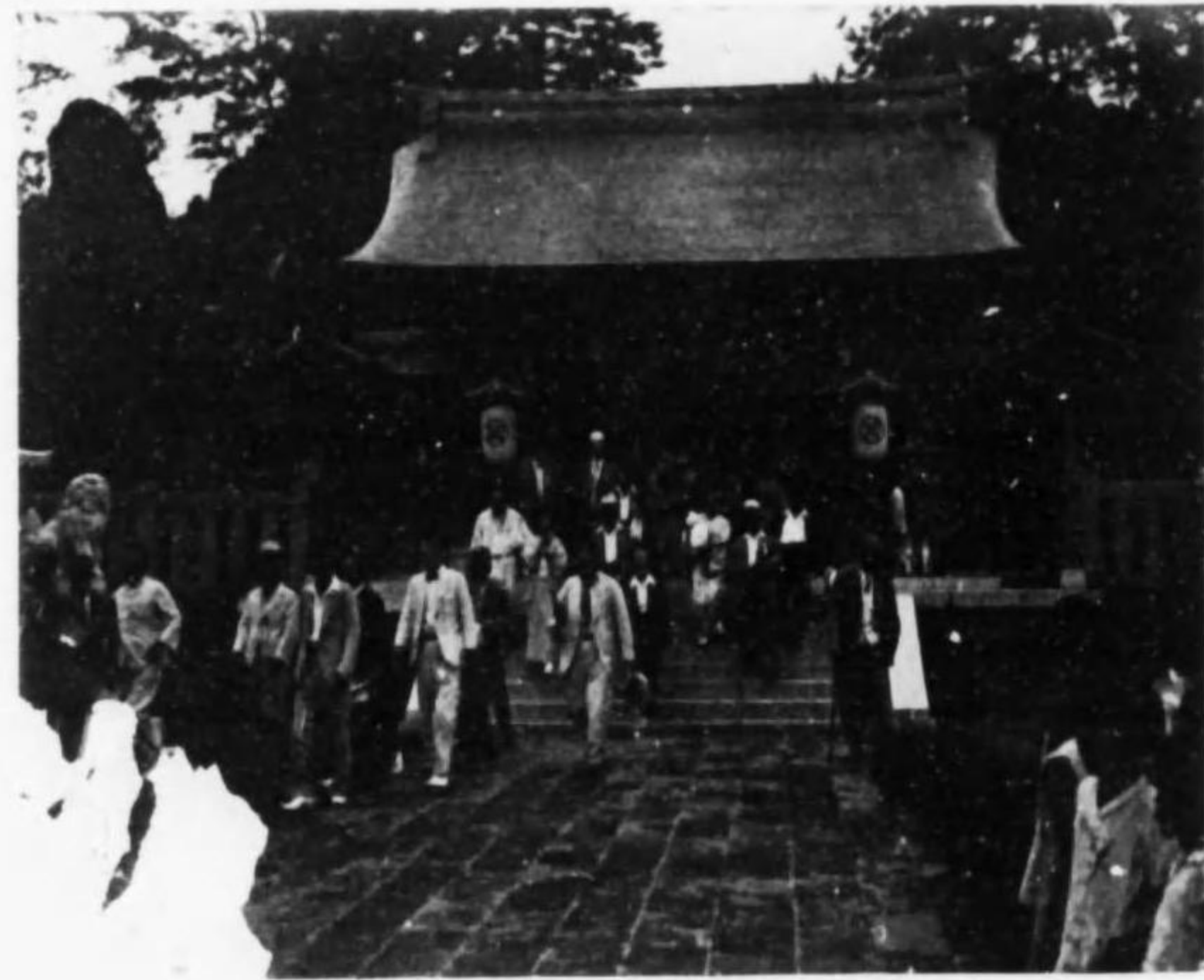
像銅佐中瀬廣ノ園公下山



莊田竹



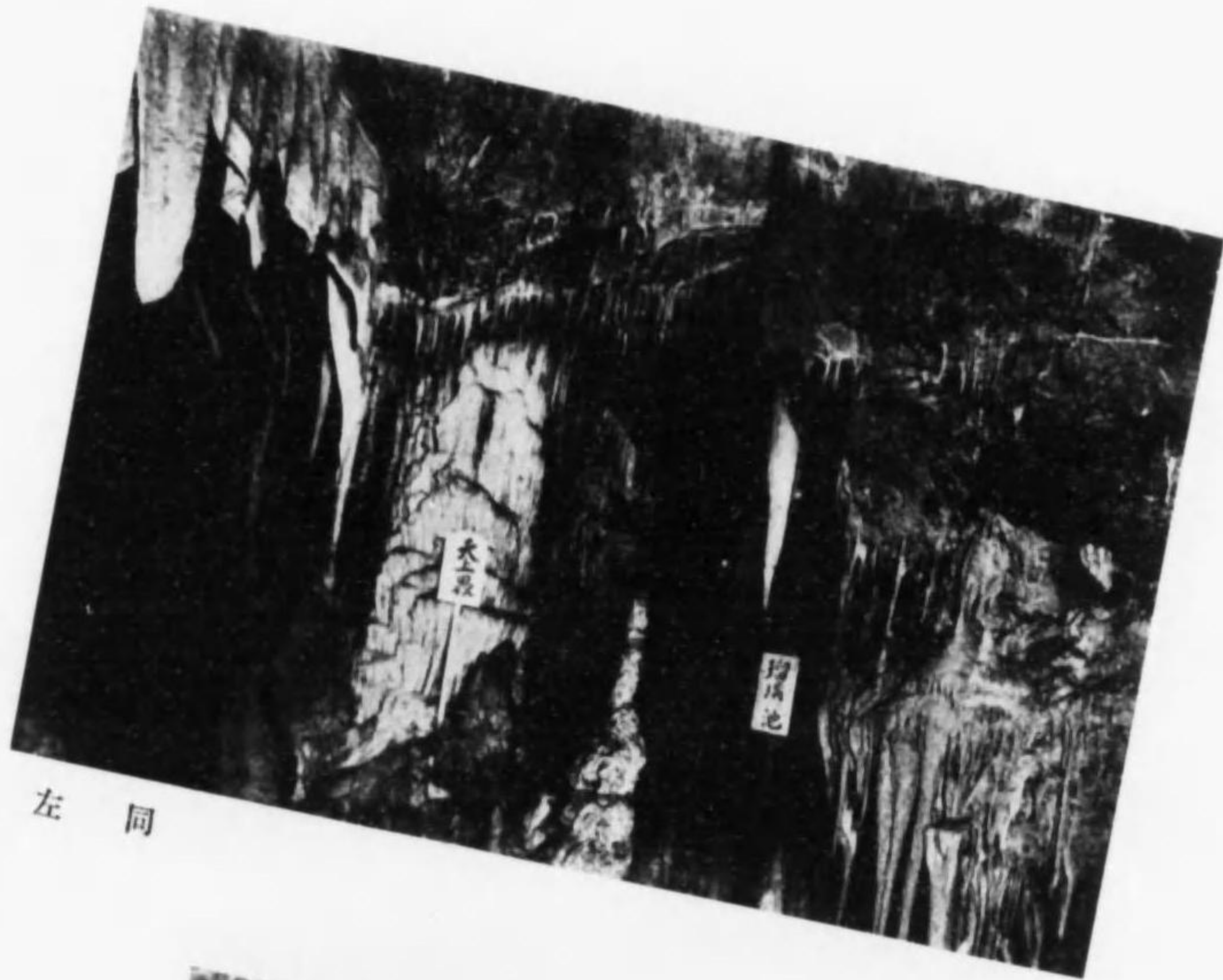
軍神廣瀬中佐ヲ祀ル廣瀬神社



廣瀬神社前ニテ



洞乳鐘連風



左 同

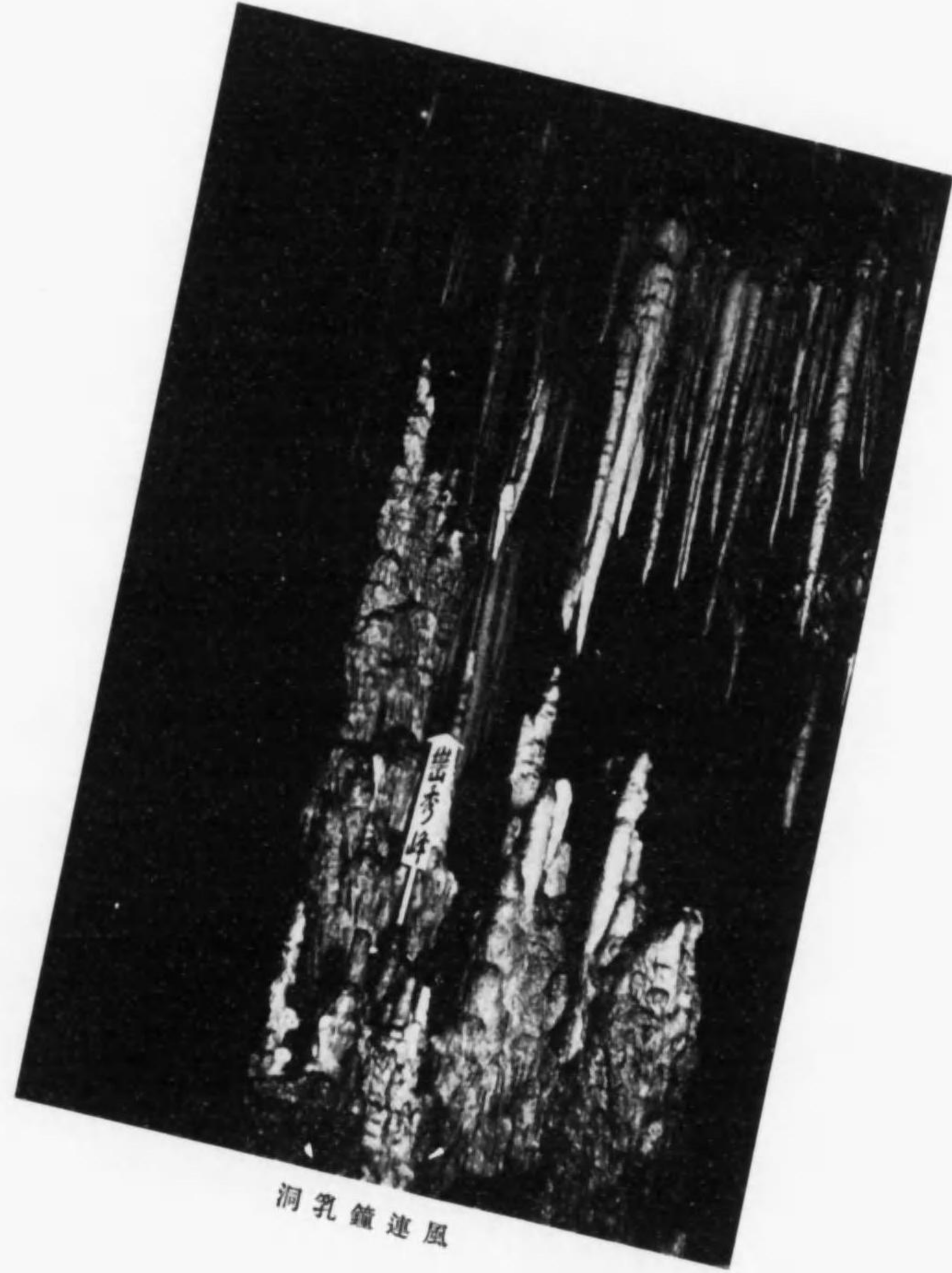


川登鐘乳洞入口ニテ

日一十三月七
 (一其) 卷ノ洞乳鐘連風登川



同



洞乳鐘連風

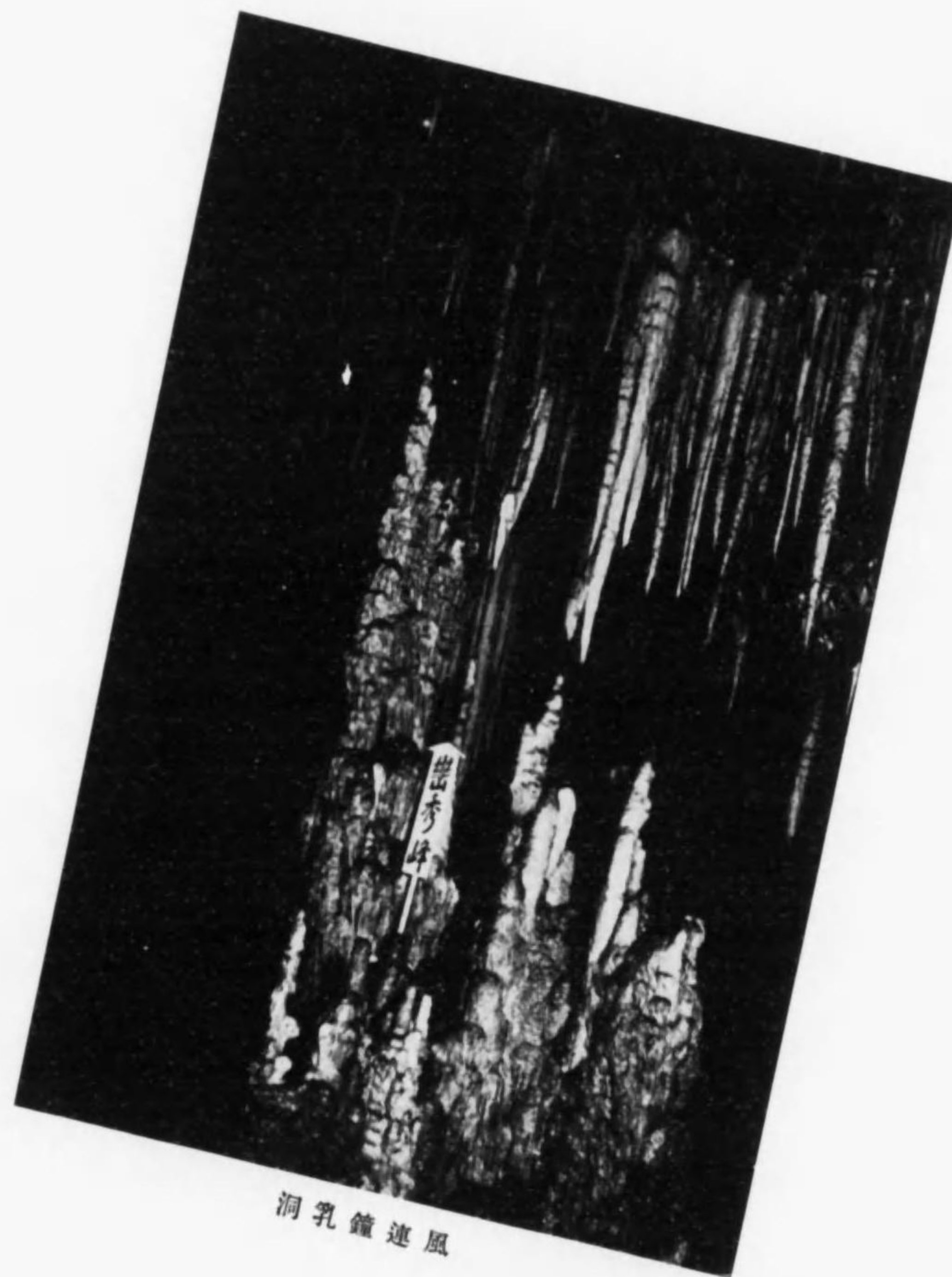
（其）卷ノ杵



白杵町全景



同



洞乳鐘連風



物見佛石ノ田深町杵白





白杵町長 江渡桂瑠氏



白杵町歓迎會（白杵公園ニテ）



白杵公園丹生ノ島城址



白杵公園





園公杵白



白杵町歡迎會





列ノ車動自ノ前社聞新分大



憩休ノラニ館會分大内社聞新分大

日一十三月七
(一其) 問訪社聞新分大

大分新聞社内大分會館ニテノ休憩

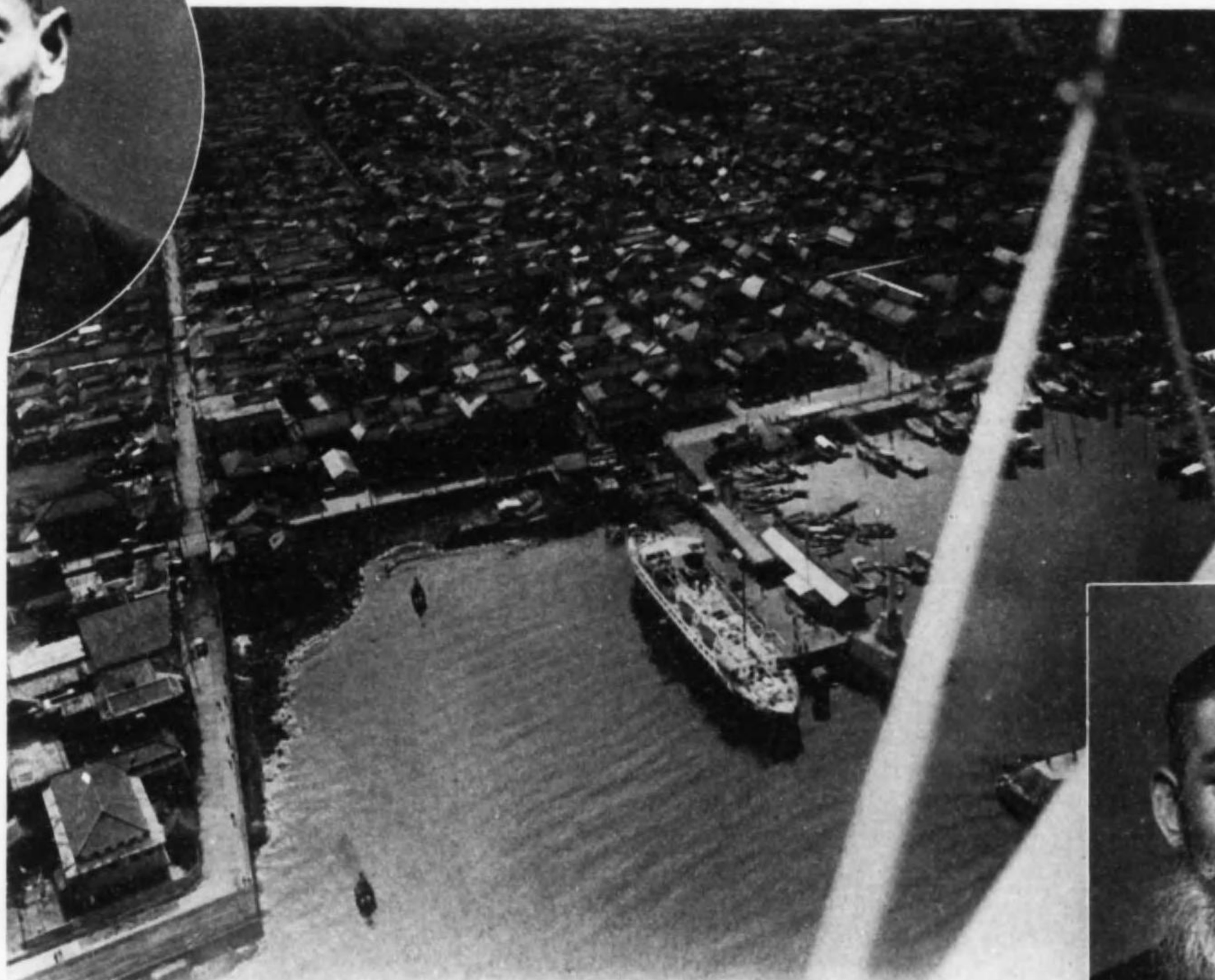


同



大分新聞社前ノ自動車ノ列

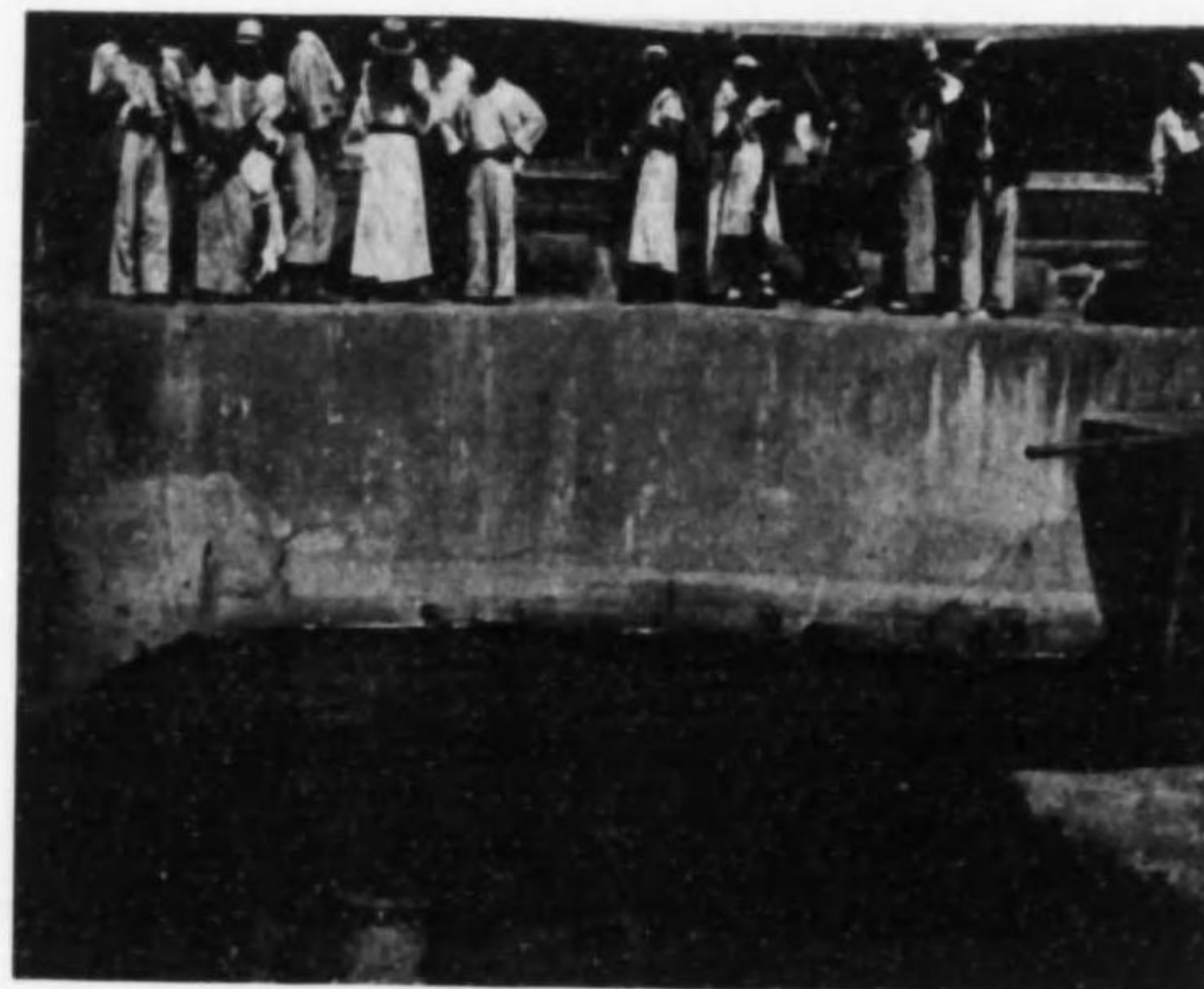
氏哉欽橋高 頭會所議會工商府別



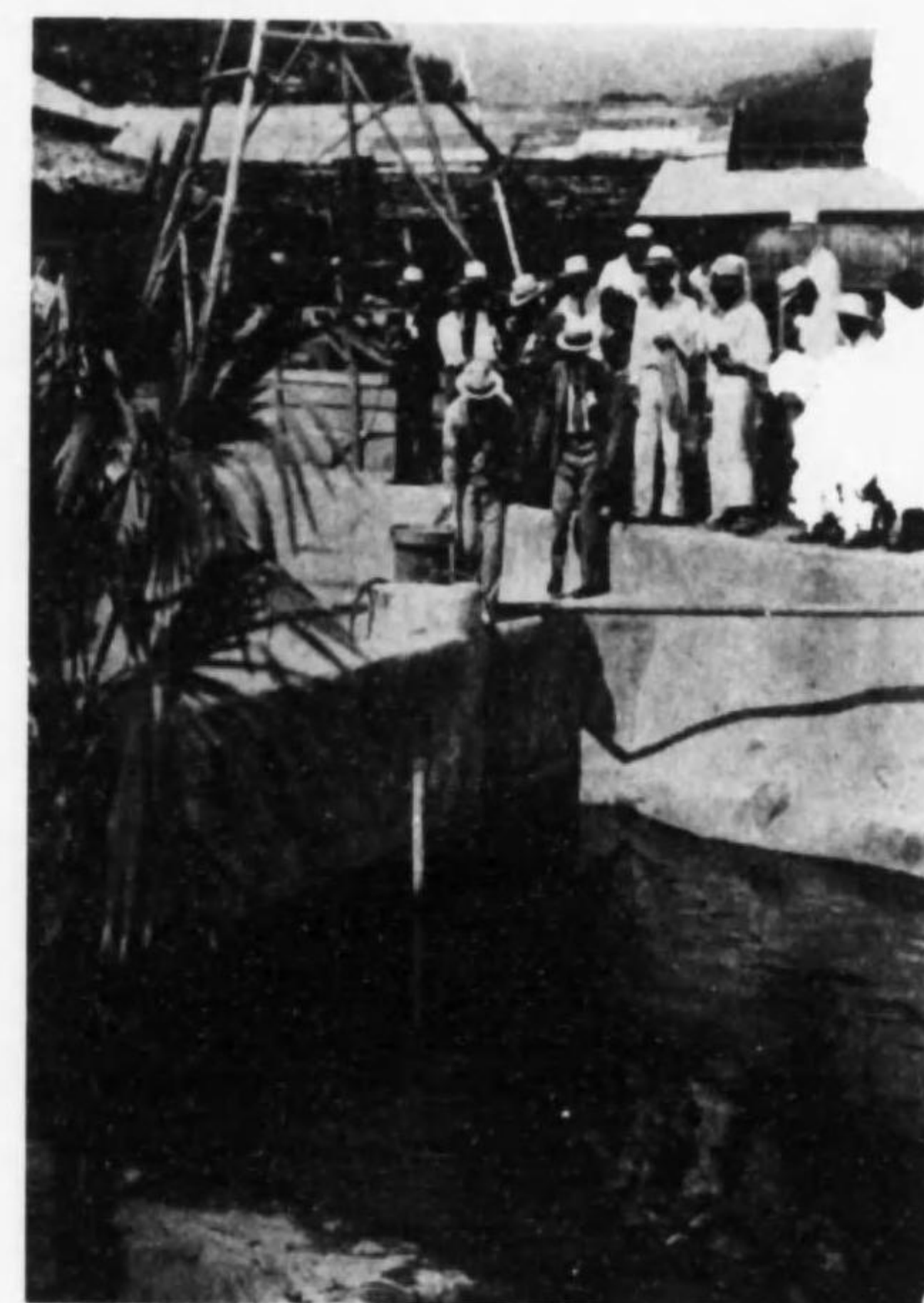
關玄ノ海ノ市府別々見ラカ空
(丸錦ハルセ付横ニ橋棧)



氏吉直野河長議會市府別



鬼山地獄ノ「ニ」



テ見テ獄地海



海地獄ニテ



鶴見園ヨリ四極山及別府市ヲ望ム



摺換ノ長團



會迎歡ルケ於ニ團見鶴市府別



摺換ノ長社聞新分大津大



同



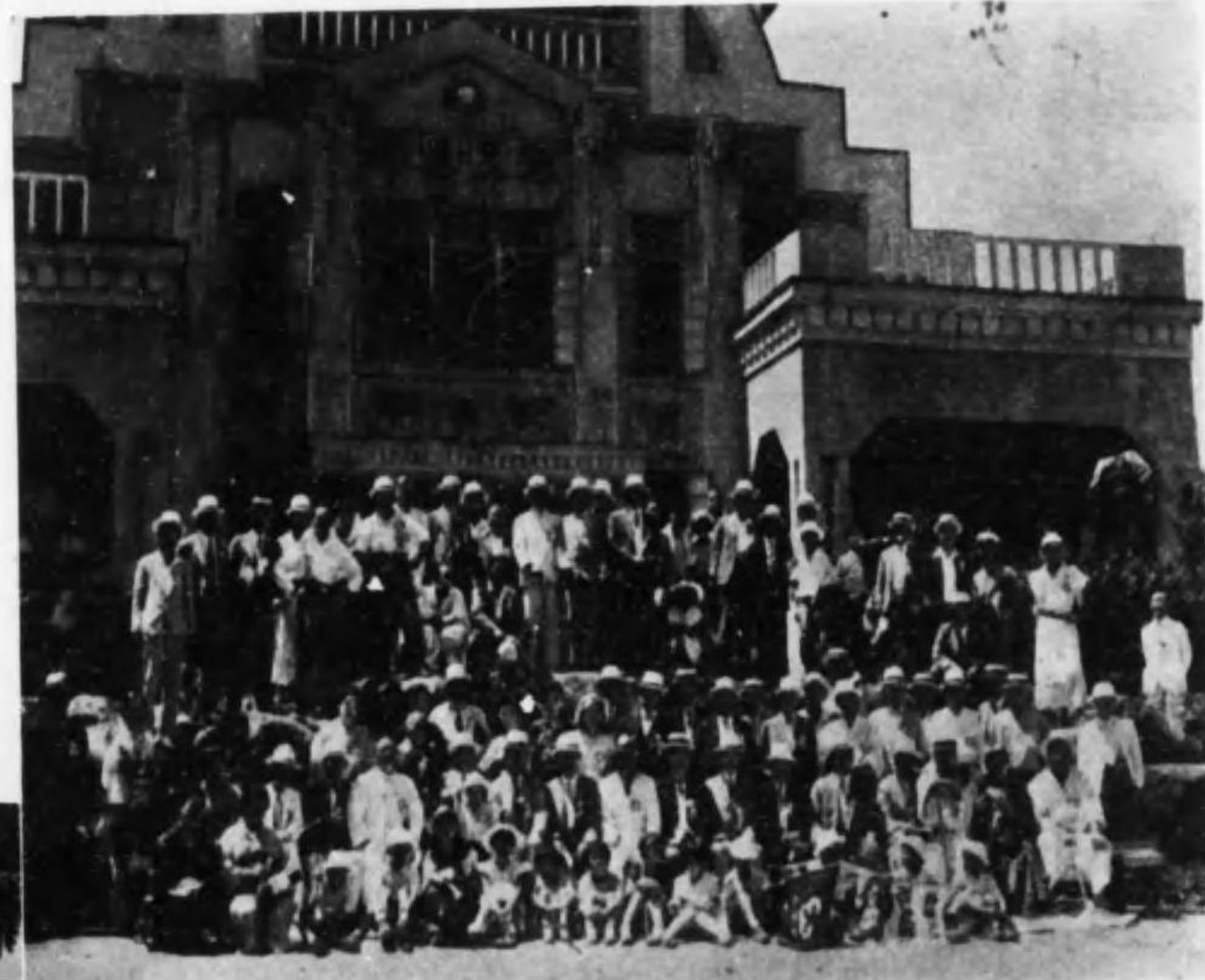
同觀迎會場



小坂市長代理迎挨拶



佐藤中將ト舊部下ノ邂逅(別府日名子旅館ニテ)

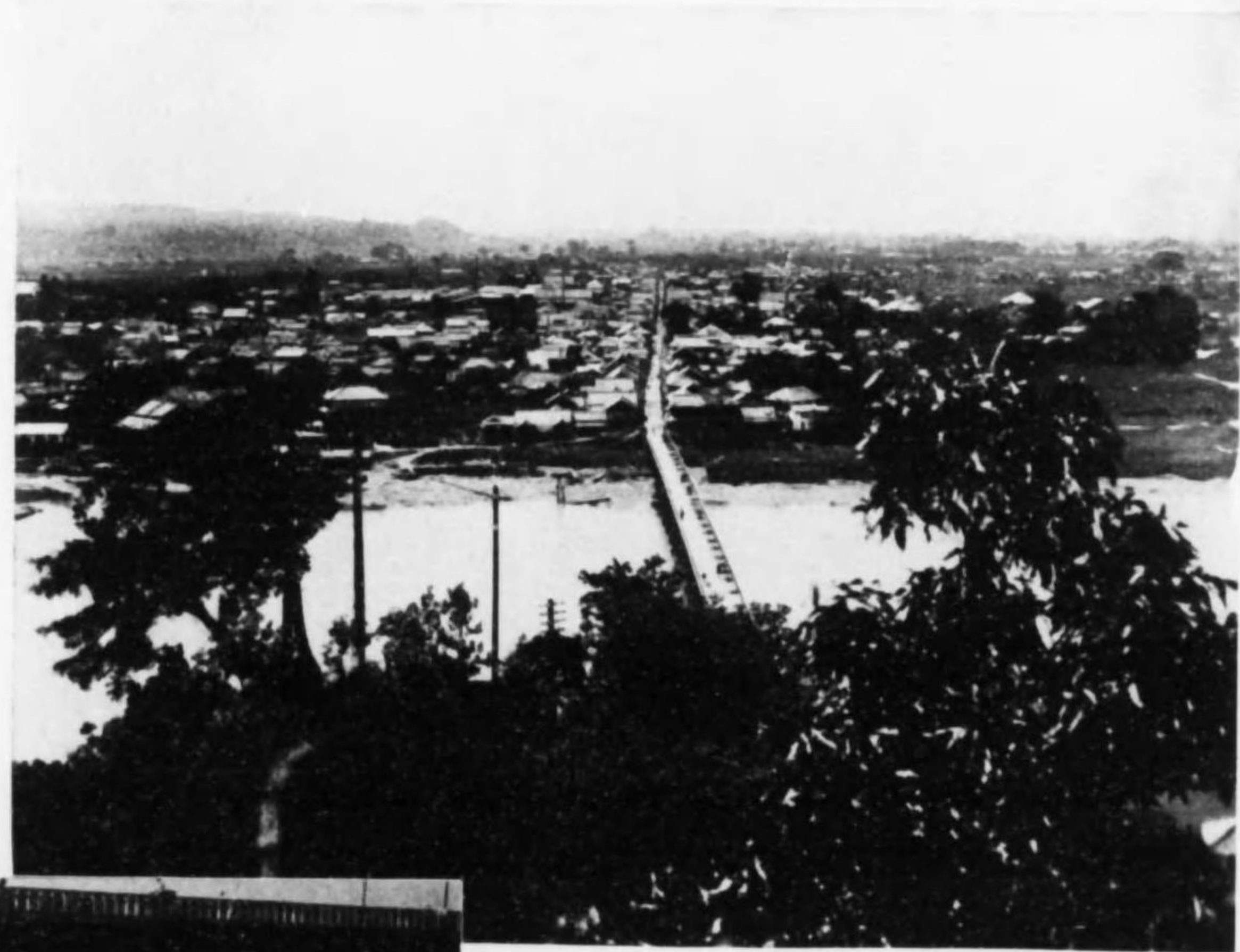


鶴見園ニテ(解散式後)

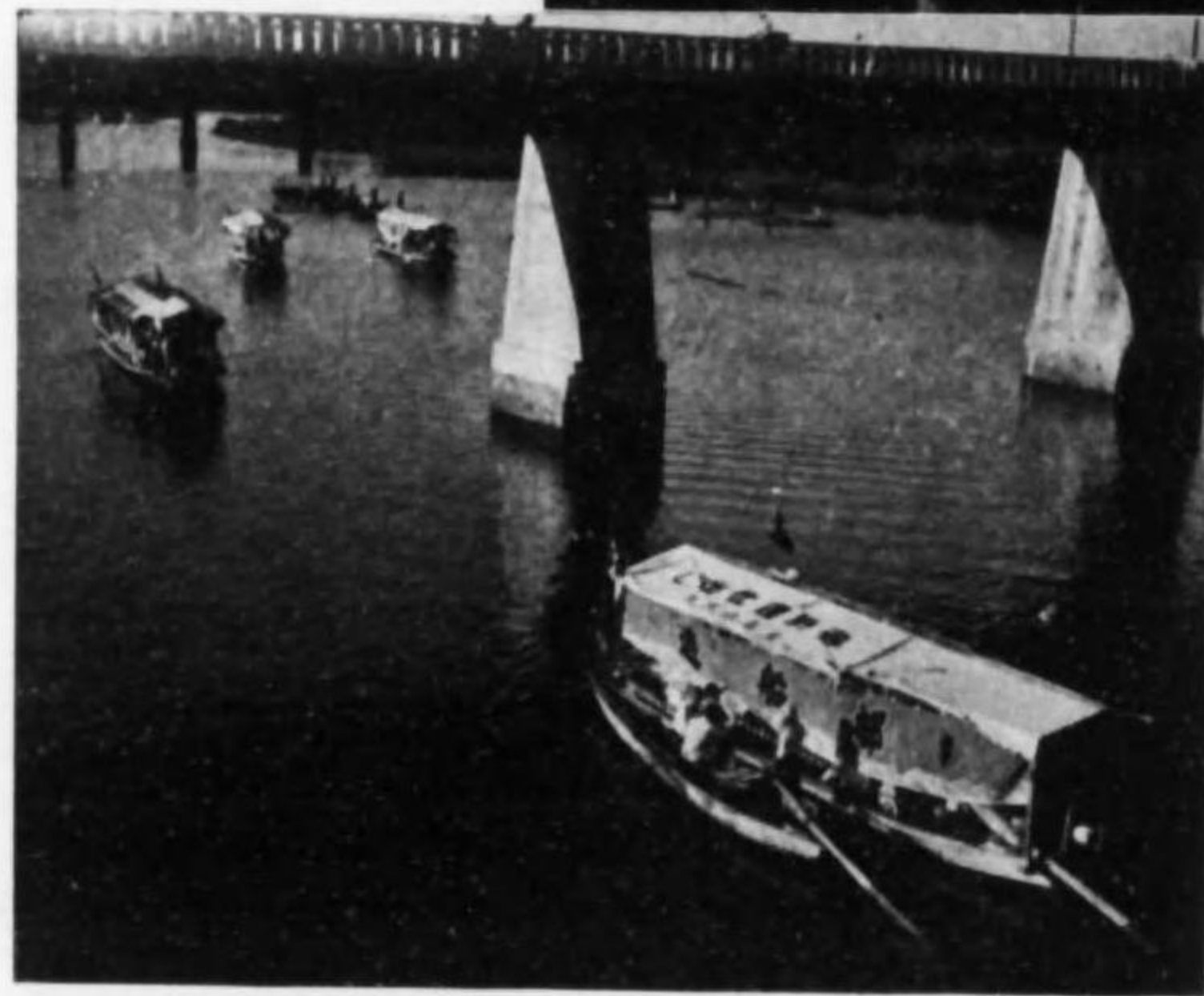




氏人武山秋 長町崎鶴

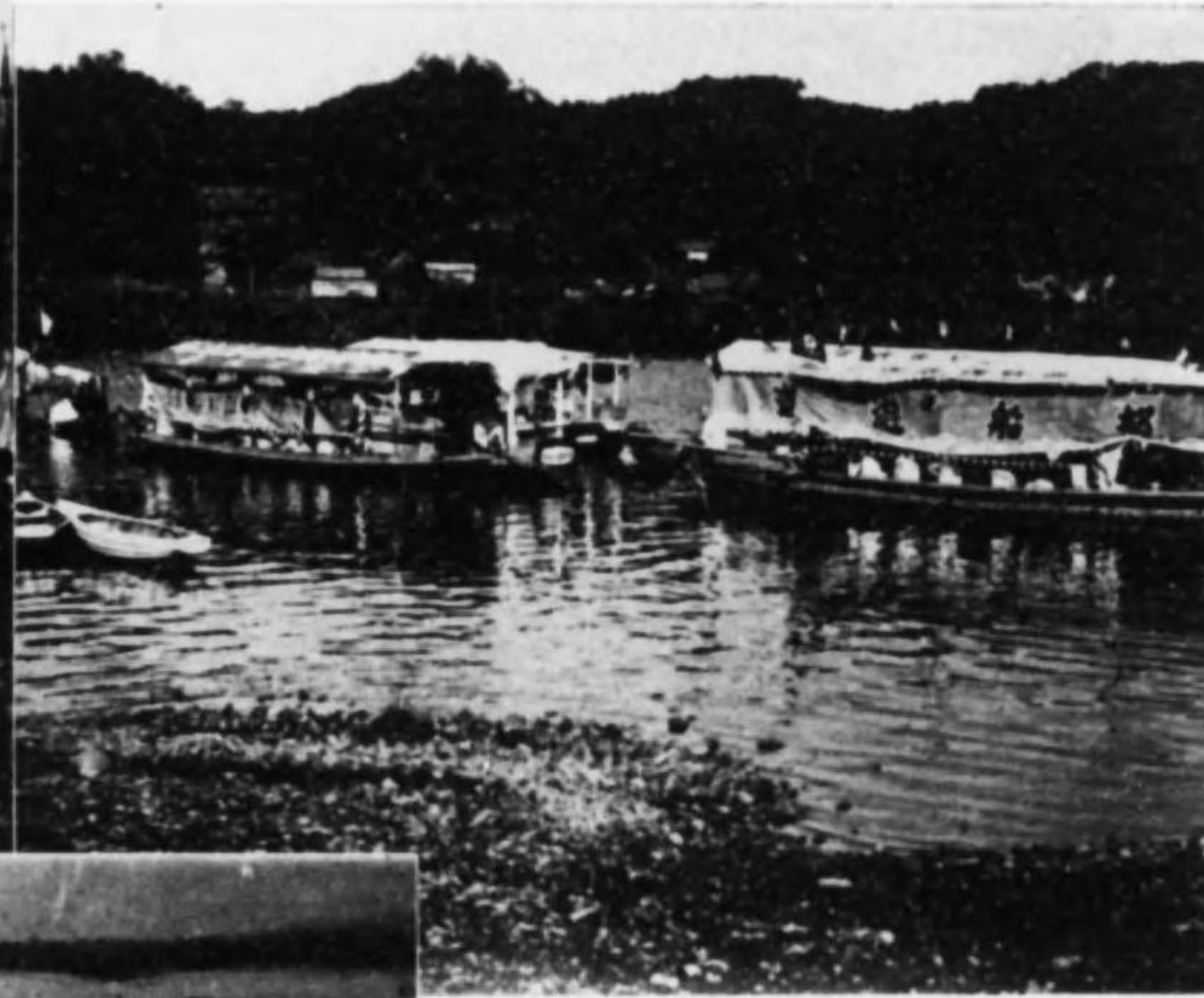


景全町崎鶴ルタ見リヨ山藏地畔川野大



(行一ノ下橋崎鶴) 船遊川野大

御手洗大分新聞社理事ノ挨拶



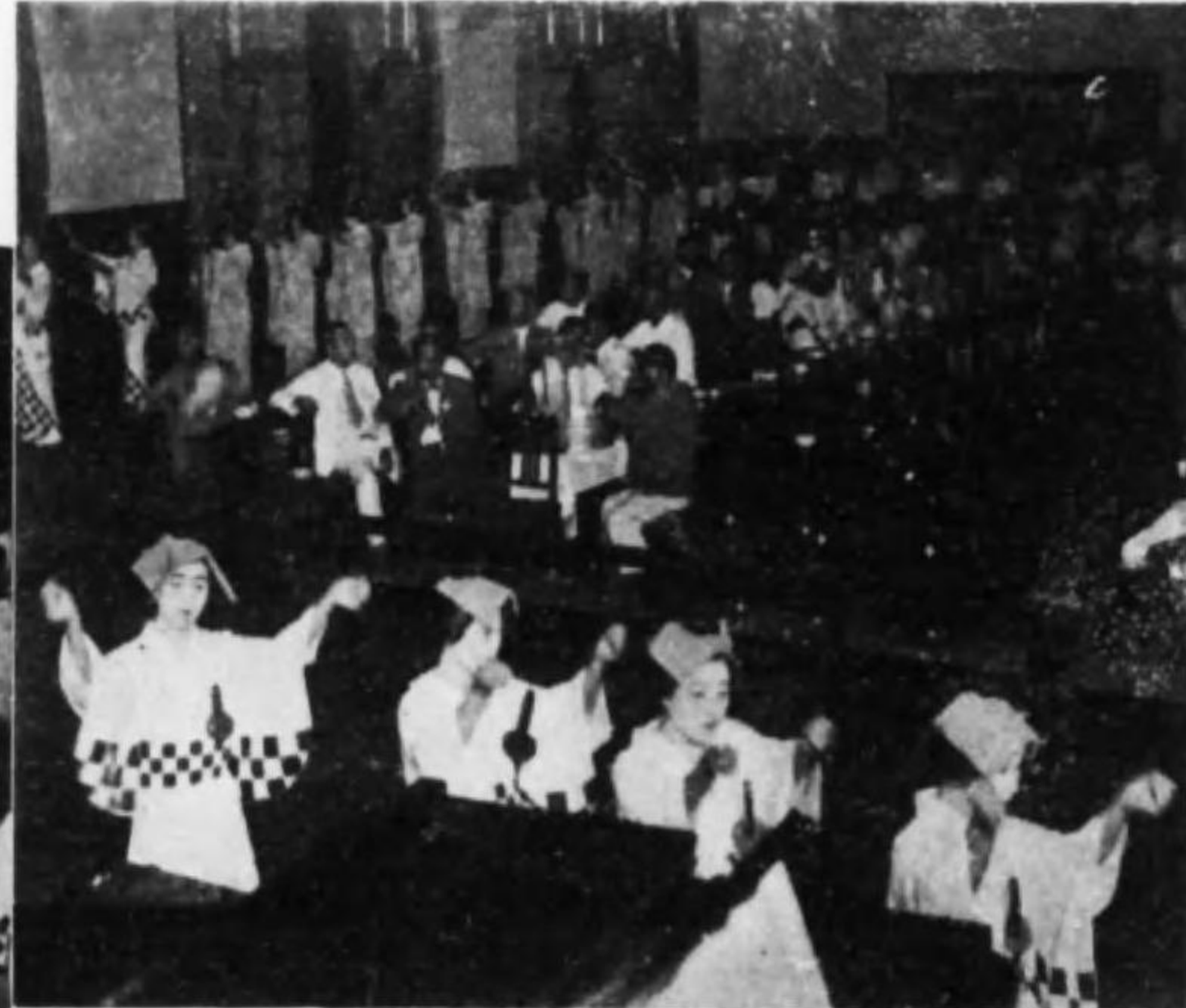
船遊川野大可崎鶴



打セ合網投物名

(二*) 卷ノ遊舟川ノ大

鶴崎踊(公會堂)



大野川遊船(中船)

(一其) 會ノ出思ルケ於ニ國澄清川深



術奇ノ興余



樂シキ會食



(二) 會ノド 見ルケガ

昭和十一年七月十五日印刷
昭和十一年七月三十日發行

發行人

松浦清平
東京市京橋區銀座西八ノ八
都ビル

發行所

大分新聞東京支社
東京市京橋區銀座西八ノ八
都ビル

印刷人

加來金升
東京市芝區西芝浦三ノ二

印刷所

アサヒ印刷社
東京市芝區西芝浦三ノ二